

平成25年度
北関東・信越ブロック 地域相談支援フォーラム

資料6： 実行委員提供参考資料集

カテゴリー

この事例集は3つのカテゴリーから構成されています。

A：各県の相談支援部会等の現況

B：施設内で利用している資料各種

C：地域での立ち位置を確立するために
取り組んでいること（資料編）

資 料 目 次

A：各県の相談支援部会等の現況

県名	ページ
茨城県	1
栃木県	3
群馬県	4
埼玉県	5
新潟県	6
長野県	8

B：施設内で利用している資料各種

C：地域での立ち位置を確立するために 取り組んでいること（資料編）

都道府県	施設名	ページ
茨城県	茨城県立中央病院	11
茨城県	筑波メディカルセンター病院	17
栃木県	栃木県立がんセンター	20
栃木県	佐野厚生総合病院	23
群馬県	群馬大学医学部附属病院	30
群馬県	前橋赤十字病院	35
埼玉県	埼玉県立がんセンター	37
埼玉県	春日部市立病院	47
埼玉県	埼玉医科大学国際医療センター	50
埼玉県	埼玉県川口総合病院	58
新潟県	新潟県立がんセンター新潟病院	61
長野県	信州大学医学部附属病院	88

茨城県がん診療連携協議会

研修部会

がん登録部会

相談支援部会

緩和ケア部会

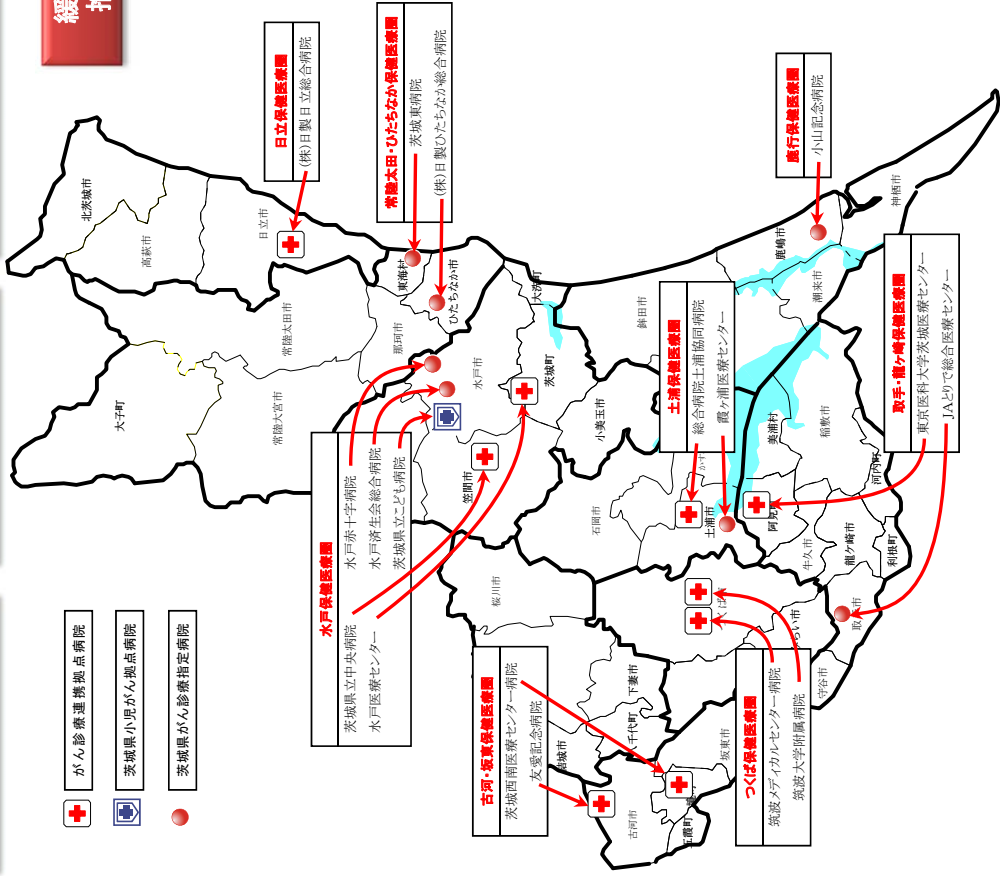
放射線治療部会

- がん診療連携拠点病院
- 茨城県小児がん拠点病院
- 茨城県がん診療指定病院

緩和ケア研修
推進分科会

リンパ浮腫
治療分科会

緩和ケア地域
連携分科会



年1回の部会開催

活動内容

- がん地域連携クリティカルパスの現状把握及び推進
- 「地域の療養情報」の更新による患者・家族への正確な情報提供
- がん相談ネットワークを設置し情報を共有、質の向上を図る

茨城県のがん相談支援センター



がんに関する相談をお受けする窓口です。診察や治療の判断をすることはできませんが、患者さん・ご家族など、どなたでも相談することが可能です。

相談料は無料で、各病院の専門の相談員がお答えします。

がんの疑いと言われたけれど不安でたまらない。

治療について詳しく知りたい。

今後の治療や生活のことが心配だ。

医療費はいくらくらいかかるのかわからない。

① 茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター ●相談支援センター●	
電話番号	0296-78-5420(直通)
FAX番号	0296-78-5421
窓口対応時間	月曜日～金曜日 9:00～16:00
住所	笠間市鯉淵 6528

② (株)日立製作所日立総合病院・茨城県地域がんセンター ●がん相談支援室●	
電話番号	0294-23-8776(直通)
FAX番号	0294-23-8416
窓口対応時間	月曜日～金曜日 8:00～16:30
住所	日立市城南町 2-1-1

③ (独) 国立病院機構茨城東病院 ●医療相談室・がん相談支援室●	
電話番号	029-282-1151(代表)
FAX番号	029-282-8638
窓口対応時間	月曜日～金曜日 8:30～17:15
住所	那珂郡東海村照沼 825

④ (株)日立製作所ひたちなか総合病院 ●がん相談支援センター●	
電話番号	029-354-5111(代表)
FAX番号	029-354-6390
窓口対応時間	月曜日～金曜日 9:00～16:00
住所	ひたちなか市石川町 20-1

⑬ 茨城西南医療センター病院 ●がん相談支援センター●	
電話番号	0280-87-6704(直通)
FAX番号	0280-87-8399
窓口対応時間	月曜日～金曜日 8:30～17:00 第1・3・5土曜日 8:30～12:30
住所	猿島郡境町 2190

⑭ 友愛記念病院 ●相談支援センター●	
電話番号	0280-97-3353(直通)
FAX番号	0280-97-3360
窓口対応時間	月曜日～金曜日 9:00～16:00 土曜日 9:00～12:00
住所	古河市東牛谷 707

⑤ 水戸赤十字病院 ●がん相談支援室●	
電話番号	029-221-5177(代表)
FAX番号	029-227-0819
窓口対応時間	月曜日～金曜日 9:00～16:30 第1・3・5土曜日 9:00～12:00
住所	水戸市三の丸 3-12-48

⑮ 筑波大学附属病院総合がん診療センター ●がん患者相談・支援部門●	
電話番号	029-853-7970(直通)
FAX番号	029-853-3404
窓口対応時間	月曜日～金曜日 9:00～16:00
住所	つくば市天久保 2-1-1

⑥ 茨城県立こども病院(小児がん) ●成育在宅支援室●	
電話番号	029-254-1151(代表)
FAX番号	029-254-2382
窓口対応時間	月曜日～金曜日 9:00～16:00
住所	水戸市双葉台 3-3-1

⑭ 筑波メディカルセンター病院・茨城県地域がんセンター ●患者家族相談支援センター●	
電話番号	029-858-5377(直通)
FAX番号	029-858-2773(代表)
窓口対応時間	月曜日～金曜日 9:30～16:30
住所	つくば市天久保 1-3-1

⑦ 水戸済生会総合病院 ●がん相談支援センター●	
電話番号	029-254-2416(直通)
FAX番号	029-254-2416(直通)
窓口対応時間	月曜日～金曜日 9:00～16:00
住所	水戸市双葉台 3-3-10

⑯ J・Aとりで総合医療センター ●がん相談支援センター●	
電話番号	0297-72-5763(直通)
FAX番号	0297-73-4586
窓口対応時間	月曜日～金曜日 9:00～16:00
住所	取手市本郷 2-1-1

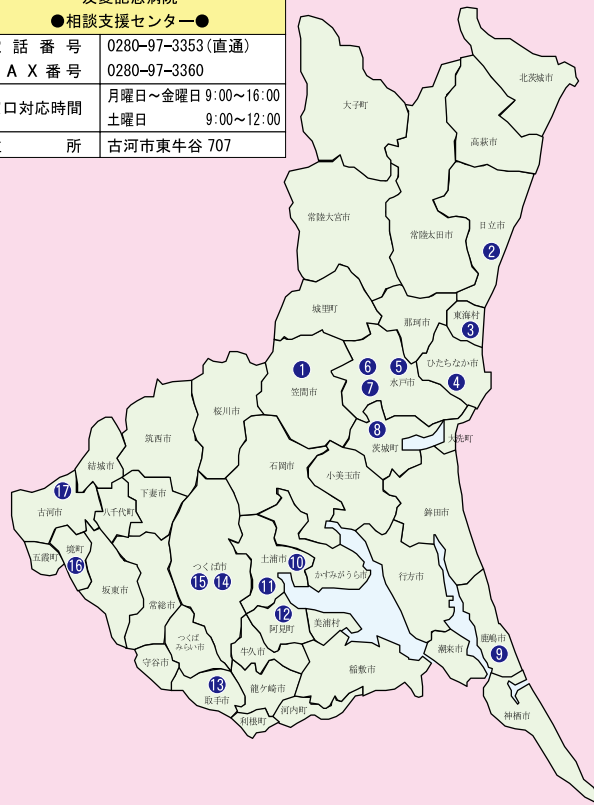
⑧ (独) 国立病院機構水戸医療センター ●医療相談室・がん相談支援センター●	
電話番号	029-240-7711(代表)
FAX番号	029-240-7788
窓口対応時間	月曜日～金曜日 8:30～17:15
住所	東茨城郡茨城町桜の郷 280

⑫ 東京医科大学茨城医療センター ●総合・相談・支援センター●	
電話番号	029-887-1157(直通)
FAX番号	029-887-1179
窓口対応時間	月曜日～金曜日 8:30～16:40 第1・3・5土曜日 8:30～11:40
住所	阿見町中央 3-20-1

⑪ (独) 国立病院機構霞ヶ浦医療センター ●地域医療連携室●	
電話番号	029-822-5050(代表)
FAX番号	029-824-0494
窓口対応時間	月曜日～金曜日 8:30～17:15
住所	土浦市下高津 2-7-14

⑩ 総合病院土浦協同病院・茨城県地域がんセンター ●相談支援センター●	
電話番号	029-823-3111(代表)
FAX番号	029-824-6657
窓口対応時間	月曜日～金曜日 8:30～17:00
住所	土浦市真鍋新町 11-7

⑨ 医療法人社団善仁会小山記念病院 ●医療相談室・がん相談支援センター●	
電話番号	0299-85-1111(代表)
FAX番号	0299-85-1112
窓口対応時間	月曜日～金曜日 8:30～16:30
住所	鹿嶋市厨 5-1-2



※窓口対応時間内でも病院休診日は対応できませんのでご通知おきください。

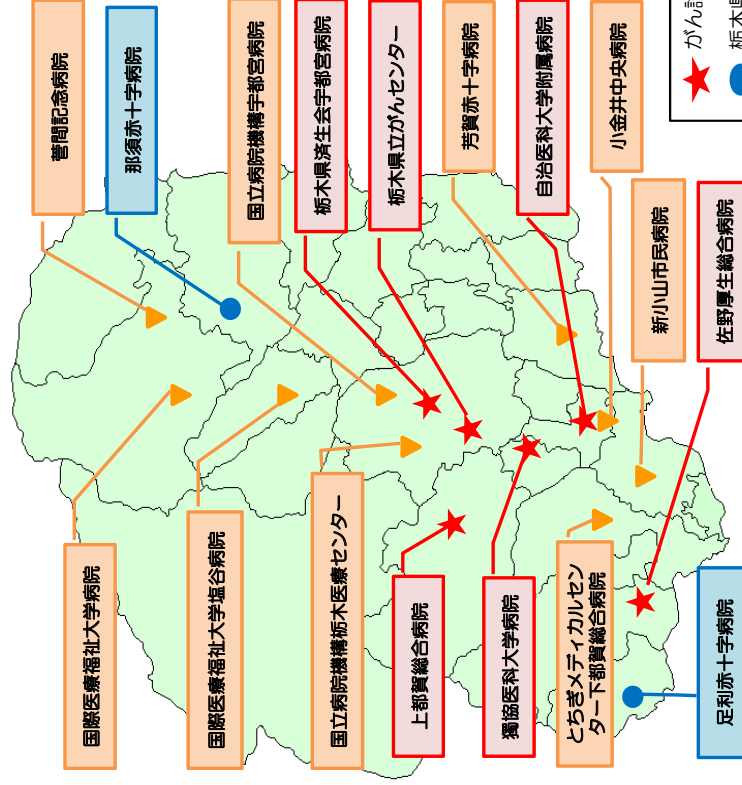
茨城県がん診療連携拠点病院 茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター TEL0296-78-5420

栃木県がん診療連携協議会

研修部会

相談支援部会

がん登録部会



年2回の部会開催

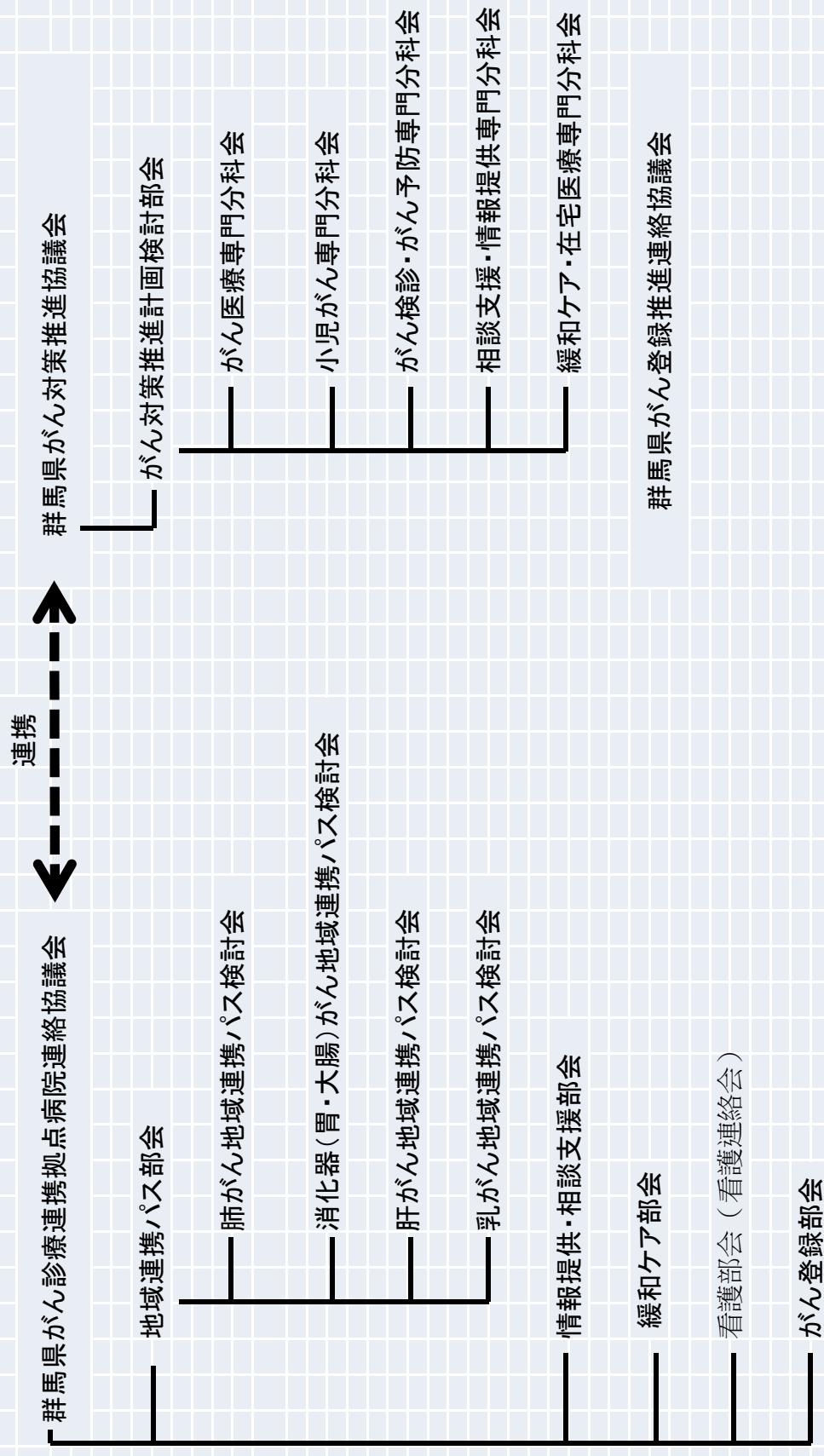
- 情報提供・相談支援に関する情報提供、情報交換
- 「患者必携 地域療養情報」の内容検討
- がん患者支援等に関わる県内調査
- 実務者研修会の検討、開催



等

- ★ がん診療連携拠点病院（6ヶ所）
- 栃木県がん診療連携拠点指定病院（2ヶ所）
- ▲ 栃木県がん診療連携協議会加盟病院（9ヶ所）

群馬県がん診療連携拠点病院連絡協議会の組織及び群馬県との連携協力



A: 埼玉県の相談支援作業部会の現状

平成20年度 部会1回開催 病院情報一覧作成 メーリングリスト作成	21年度 部会3回開催	22年度 部会2回開催 緩和ケアを提供して いる医療機関の 情報提供	23年度 部会2回開催 研修会2回開催 研修会計画	24年度 部会3回開催 研修会1回開催 持ち回り運営開始 地域医療機関リスト作成 病院見学	25年度 3回開催予定
<p>第1回8/9 14/15施設 31名 埼玉県がん診療連携協議 会開催後、各部会(実務者 で討議</p> <p>①各施設紹介と現状報告 ②がん対策情報センターの 小冊子、その他資料の設 置・配布について</p> <p>③人員配置について 事前に調査用紙配布、各 拠点病院・指定病院情報 一覧作成</p> <p>(名称、人員数、統計、記 録、検討課題など) メーリングリスト作成</p>	<p>第1回5/23 13/13施設 20名 ①各施設紹介と現状報告 ②地域医療機関、 地域資源の情報共有 ③患者会とのかかわり ④相談支援作業部会の 在り方</p> <p>第2回10/3 13/15施設 21名 ①各施設紹介と現状報告 ②統計、記録方法 ③緩和ケア外来</p> <p>第3回2/20 12/14施設 22名 ①各施設紹介と現状報告 (グループ討議) (看護師とSWの業務分担、 統計、記録、患者図書、 患者会、キャンサー ボード)</p>	<p>第1回6/26 12/16施設 20名 ①各施設紹介と現状報告 (グループ討議) ②統計、記録方法 ③他業務との調整 ④緩和ケア外来 ⑤患者会の運営・連携 ⑥今後の部会での活動 (他県の情報、事例検討 会、県の方の参加要望、 医療機関の情報共有)</p> <p>第2回10/16 13/16施設 20名 ①各施設紹介と現状報告 (グループ討議) ②リレーフォーライフ 参加報告 ③今後の部会での活動 (医療機関の情報共有、 研修会)</p> <p>埼玉県内で緩和ケアを提 供している主な医療機関 の情報提供 第3回3/12震災で延期</p>	<p>第1回5/14 11/16施設 30名 研修会 テーマ:「怒りを扱う」 講師:埼玉県立がんセン ター 精神腫瘍科 和田 知未先生 ①講義、事例検討 (グループ討議) ②今後の部会の運営: 部会持ち回り運営提案 ③医療機関一覧表作成に ついての提案</p> <p>第2回6/4 14/16施設 25名 ①今後の部会の運営:持ち 回り運営 ②医療機関一覧表作成 第3回11/5 16/17施設 44名 研修会 テーマ:がん地域連携スギ ルアップセミナー 「生活をつなぐ退院支援を 行うには」 講師:国立病院機構 愛媛 病院 地域医療連携室 難病・地域連携コーディネ ーター 医療SW 橋本真由美(旧姓 生駒) ①講演、グループ討議、 医療機関マップ作製 第4回2/25 16/17施設 22名 ①今後の部会の運営 (持ち回り運営、他県の 状況報告、事務局、部会 開催回数)</p>	<p>第1回5/19 20/22施設 33名 ①相談支援作業部会説明 ②各施設紹介と現状報告 ③持ち回り運営 ④地域医療機関リスト作成 ⑤第2回目研修会について ⑥埼玉県済生会川口総合 病院見学</p> <p>第2回10/27 20/22施設 42名 研修会 テーマ:「がん患者・家族と の協働のあり方を考える ～患者サロン・サポートグ ループの立ち上げ 及び運 営を通じて～」 ①「がん患者サロン」や き」の実践報告 国立病院機構埼玉病院 ②「がん患者会シャロー ム」の活動内容、参加者の 声、「在宅緩和ケア冊子」 作成の経緯 がん患者会シャローム代表 植村めぐみ氏 ③グループ討議 第3回2/27 17/22施設 35名 ①「埼玉県がん対策推進計 画について」紹介 埼玉県疾病対策課主幹 ②相談支援センターが抱 えている課題と埼玉県 としての検討事項につ いて、グループ討議 (就労支援、がん文庫、人 員基準、がんサロン設置) ③埼玉医科大学国際医療 センター病院見学</p>	<p>第1回6/29 21/22施設 47名 ①相談支援部会の運営に ついて ②各施設紹介と現状報告 ③都道府県がん診療連携 拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援作業 部会の報告 ④地域相談支援フォーラム の案内 ⑤相談員指導者研修につ いて(基礎研修Ⅲ修了者 の把握) 第2回10/26 研修会予定 第3回2/22 部会予定</p>



新潟県における相談支援部会について

【相談支援部会などの実務者ネットワーク】

相談支援部会という名称の会はなく、県がん診療連携協議会の下部組織、情報連携部会がその機能を兼ねている。

【県がん診療連携協議会】

参加施設：主に 9 施設

県立がんセンター新潟病院	相談支援センター
県立新潟田病院	がん相談支援窓口
新潟大学医学総合病院	がん相談支援室
新潟市民病院	地域医療室
済生会第二病院	がん相談支援センター
長岡日赤病院	がん相談支援センター
県立中央病院	地域連携センターがん相談支援センター
新潟労災病院	相談支援室
長岡中央総合病院	がん相談支援センター

※他に、がん診療連携拠点病院に準ずる病院が 3 施設(立川総合病院、柏崎総合医療センター、上越総合病院)、医師会、県福祉保健部などが参加

【情報連携部会の取り組みや実績】

- ・集まる頻度：年一回 5~6 月
- ・県がん診療連携協議会との関係：四部会のうちの一つ

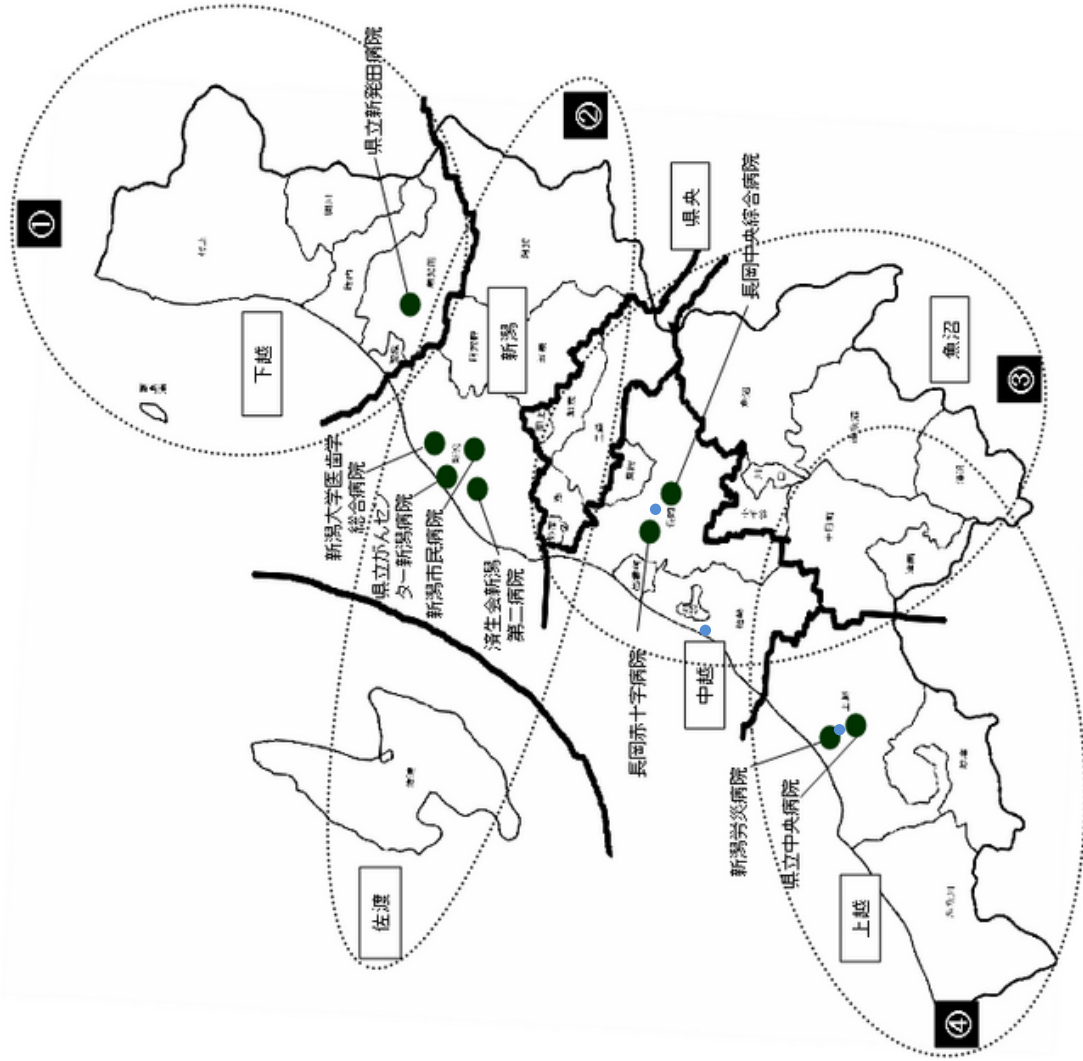
- ① がん登録部会
- ② 研修教育部会
- ③ **情報連携部会**
- ④ 緩和ケア部会

・取り組みと実績：

- 1) 相談支援に関する事項：各施設の現状報告や情報共有。メールや電話で連携を図っている。
- 2) 地域連携パスに関する事項：5 大がんについて、疾患別にワーキンググループがある。パスは県統一なので、部会の WG で作成・修正・運用マニュアル作りなど行ったり、各都市医師会へ説明会に出向いたりしている。

(参考) 県内拠点病院の文武

(<http://www.pref.niigata.lg.jp/iyaku/1202922040602.html>)

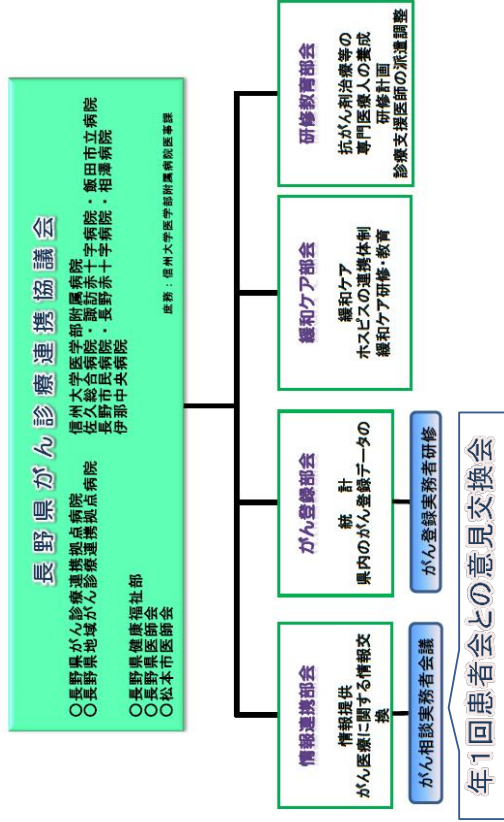


長野県がん診療連携協議会 情報連携部会

信州大学医学部附属医院

图体制

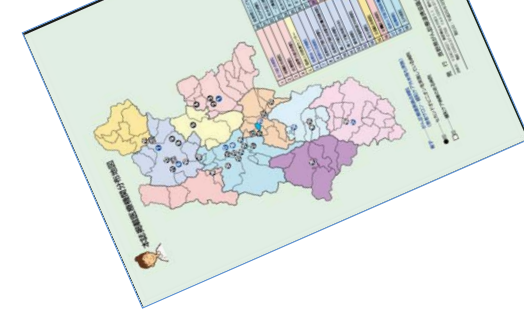
地域連携クリティカルポストー



長野県の療養情報(年1回更新、配布)

長野県

がん相談員スキルアップ研修2012



長野県内の

- ①がん診療連携拠点病院
- ②がん相談支援センターの連絡先
- ③セカンドオピニオン外来一覧
- ④拠点病院のがん患者サロンの情報
- ⑤緩和ケアチームと緩和ケア病棟の情報

長野県がん診療連携協議会を開催

07年02月14日



勝山努医学部附属病院院長

医学部附属病院では、平成19年2月9日（金）、がん診療連携拠点病院にすでに指定されている6病院（佐久総合病院、諏訪赤十字病院、飯田市立病院、長野赤十字病院、長野市民病院、本学医学部附属病院）、長野県、医師会の代表者及び本院職員が出席し、長野県がん診療連携協議会の初回会議を開催しました。この協議会は、厚生労働省健康局による「がん診療連携拠点病院の整備に関する指針」に基づき、「都道府県がん診療連携拠点病院」として設置することが義務づけられています。

会議では、「長野県がん診療連携協議会要項及び部会申し合わせ」の制定について審議を行い、協議会の運営を円滑に進めるために情報連携、がん登録、緩和ケア、研修教育の4部会の設置が認められました。協議会は今後とも年数回開催する予定です。（医学部附属病院）



渡辺由子県衛生部長

長野県がん診療連携協議会要項(平成19年2月9日制定)より抜粋

(目的)

- 1 長野県がん診療連携協議会要項(平成19年2月9日制定。以下「協議会要項」という。)第6条第2項規定に基づき、長野県がん診療連携協議会部会(以下「部会」という。)に関し必要な事項を定める。

(組織)

- 2 部会の名称、担当業務及び支援組織は、次のとおりとする。

部会名称	担当業務	支援組織
情報連携	情報提供 がん医療に関する情報交換 クリティカルパスの整備	信州大学医学部附属病院 ・がん総合医療センター ・医療福祉支援センター
がん登録	統計 県内のがん登録データの分析・評価	信州大学医学部附属病院 ・がん総合医療センター 臨床腫瘍部がん診療情報室
緩和ケア	緩和ケア、ホスピスの連携体制	信州大学医学部附属病院 ・がん総合医療センター 緩和医療部 ・医療福祉支援センター
研修教育	抗癌剤治療等の専門医療人の養成 研修計画 診療支援医師の派遣調整	信州大学医学部附属病院 ・がん総合医療センター がん臨床研修部

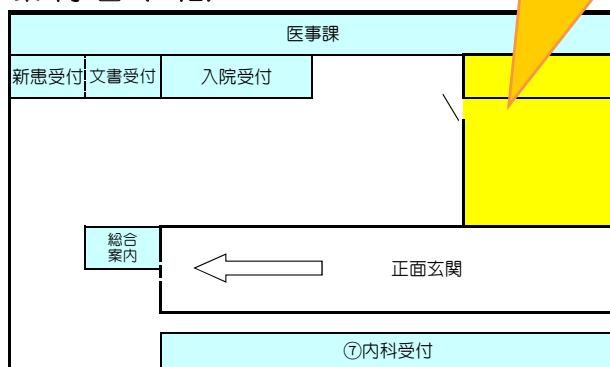
都道府県がん診療連携拠点病院
相談支援センターのご案内



患者様とそのご家族の不安や悩みに、専任の看護師や医療ソーシャルワーカーが皆様のお話を伺い、一緒に考え問題を解決できるようお手伝いさせていただきます。
どなたでもお気軽にご相談ください。相談する場所は1階入院受付隣にございます。

相談支援センター
(医療相談室)

案内図(1階)



☆ 受付時間 : 9時~16時(平日)

☆ 対面相談 : 面談室での相談

☆ 電話相談 : 0296-78-5420(直通)

茨城県立中央病院



相談支援センターの業務 茨城県立中央病院

1 医療相談・よろず相談

診断や治療に関する医療相談、医療費、福祉、介護サービス等よろず相談について、広く一般の方からご相談いただけます。「医療費の支払いがたいへん」、「訪問看護を受けたいけどどうしたらいいの」等、お困りのことがあればお気軽にご相談下さい。





2

退院調整

主治医や病棟の担当看護師と相談し、自宅や地元の医療機関（かかりつけ医、訪問看護等）へ移行した場合に不都合が生じないように退院の準備をお手伝いします。







4 情報提供

患者さま、ご家族に対するがん医療に関する
情報提供を行います。患者さ
ま、ご家族、どな
たでもご相談下
さい。

相談支援センターは…

あなたの
理解を
助けます



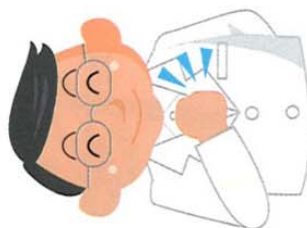
あなたの心を
支えます



あなたと
一緒に
探します



あなたの
生活を
支援します



あなたに
合った情報を
提供します



あなたの
家族も
支えます



**地域配布用
病院広報誌**

17



患者家族相談支援センターのご紹介

スタッフ紹介

看護師	山口 涼子
ソーシャルワーカー	大久保 広子
ソーシャルワーカー	田中 学

受付時間

平日 9:30 ~ 16:30

連絡先

筑波メディカルセンター病院
〒305-8558 茨城県つくば市天久保1-3-1
TEL: 029-858-5377 (直通)

患者家族相談支援センターでは、看護師と医療ソーシャルワーカーが患者さんやご家族の心配ごとをお聞きし、必要な情報の提供をしています。相談受付窓口として、セカンドオピニオンの相談・予約、緩和ケアの相談・予約、かかりつけ医の相談と紹介等行っております。



地域連携
登録医(診療所)
配布用資料

相談支援センター案内リーフレット (院内配布、各種研修・イベントにおいて周知)

不安だな、困ったな と感じたら、いつでもご相談ください

病気のことを相談したいけど、誰に相談したらいいのかな？

入院することになったけど医療費はどのくらいかかるのかな？



緩和ケアって何だろう。どうすればかかれるのかな…入院費って高いのかな？

退院が決まったけど、家に帰ってからのが心配だな…

がん専門相談員、保健師、医師等がご相談に応じています。直接お越しいただく方法と電話でのご相談、どちらでも可能です。ご入院中の方は病棟看護師にお伝えいただければ、病室にお伺い致します。

 相談は**無料**です。予約もいりません。秘密は**厳守**いたします。

↑ 駐車場側 (東館)



↓ 外来側 (西館)

院内案内図

相談受付窓口
ほごちろです

がん情報・相談支援センター

医療連携課

患者図書室
こやま文庫

相談室

相談コーナー

再受受付機

図書コーナー

売店

理髪店

検診受付

がん情報・相談支援センター (熊本県立がんセンター内)

直通電話 028-658-6484

月曜日～金曜日 (祝祭日除く) 午前8時30分～午後5時15分



「がんセンターだより 第22号」の掲載

(平成25年3月29日発行)

県内医療機関・関係機関・院内配布



栃木県立がんセンター がん情報・相談支援センターのご紹介

がん情報・相談支援センターは平成19年5月に開設し、現在、相談員6名(保健師4名・看護師1名・社会福祉士1名)が、医師や認定看護師等と連携しながら院内外からのさまざまなご相談に対応しています。



相談内訳(院内・院外)



面接相談内訳(内容別)
23年度合計(n=2,722)



電話相談内訳(内容別)
23年度合計(n=1,491)



がんについての相談をお受けしています

がんの患者さんやご家族の方だけでなく、どなたでもご利用いただけます。
相談は無料ですので、ご連絡なくご相談ください。

病状に関する相談 精神状態に関する相談
日常生活に関する相談 セカンドオピニオンに関する相談
経済的相談に関する相談 がんに関する様々な悩み、不安 など・

医師、保健師及び専任の相談員が相談に当たっているほか、以下の分野では、より専門的な知識を有する認定看護師が相談に当たっています。

〇がんによる痛みの薬物 〇乳がん 〇上・下肢リンパ管腫
〇がん化学療法 〇腸胃がん 〇オストマニア

患者会・講演会の開催

ぽこ・あ・ぽこ 乳癌患者の会
たんぽぽの会 全がん患者・家族の会

がん情報の提供を行っています

がんをテーマとした市民公開講座の開催
がんに関する図書、パンフレットの貸出・配布
がん情報を収集できるインターネットコーナー
情報誌「がんセンターだより」の発行 など・

患者図書館「こやま文庫」

がん情報・相談支援センターに隣接する「こやま文庫」では、がんに関する図書を多数所蔵しています。医師やボランティアが図書の閲覧や貸出などのお手伝いを行っています。



◆相談支援センターのご案内◆

名称	がん情報・相談支援センター
場所	栃木県立がんセンター 1階
電話	(直) 028-658-6484
HPアドレス	http://www.tcc.pref.tochigi.lg.jp
受付時間	平日 午前8時30分～午後5時15分
担当者	がん相談員・医師・認定看護師等
予約の要否	不要
料金	無料



お気軽にお声かけください

「患者必携：あなたとあなたの家族のためのがんの療養情報（改訂版）」の掲載 （平成25年3月発行）

県内医療機関・関係機関・院内配布



各施設からのご案内



栃木県立がんセンター がん情報・相談支援センターのご案内

◆相談支援センターのご案内

電話番号	028-658-6484(直通)
日時	月～金曜日 8:30～17:15
担当	がん専門医療相談員・医師・認定看護師等



◆セカンドオピニオンのご案内

日時	平日の午後(各診療科により曜日・時間が異なります)
料金	基本料金:1回につき8,080円 CT・MR画像等をお持ちいただいた場合は、13,000～20,000円程度になります。
予約方法	電話予約:予約センター 028-658-5012(直通) 受付時間:8:30～16:30

◆各施設からのご案内

患者図書室	こやま文庫
患者会	ぽこ・あ・ぽこ(乳がん患者の会) たんぽぽの会(全がん患者・家族の会)

がんについての相談をお受けしています

がんの患者さんやご家族の方だけでなく、どなたでもご利用いただけます。相談は無料ですので、ご遠慮なくご相談ください。

- 病気に関する相談
- 精神的問題に関すること
- 日常生活に関すること
- セカンドオピニオンに関する相談
- 経済的問題に関すること
- がんに関する様々な悩み、不安など...

医師、保健師及び専任の相談員が相談に応じているほか、以下の分野では、より専門的な知識を有する認定看護師が相談に応じています。

- がんによる痛みの緩和
- 乳がん
- 上・下肢リンパ浮腫
- がん化学療法
- 緩和ケア
- ストーマケア

がん情報の提供を行っています

- がんをテーマとした市民公開講座の開催
- 患者図書館「こやま文庫」での医学情報提供
- がんに関する図書の貸し出し、パンフレット配布
- がん情報を収集できるインターネットコーナー
- 情報誌「がんセンターだより」の発行 など...



ご相談は予約不要・無料です。



当院ではがん専門医療機関としての外来診療のほか次の特殊外来も行っています。



- 禁煙サポート外来
- がん予防外来
- 緩和ケア外来
- がん予防遺伝カウンセリング
- ピロリ菌外来
- 緩和ケア病棟

医療福祉相談室にご相談下さい



医療ソーシャルワーカー・がん専従看護師が対応致します。

相談は無料となっておりますので、どうぞお気軽にご来訪下さい。

佐野厚生総合病院内
1 階 薬局 側
医療福祉相談室

緩和ケアとは

緩和ケアとは命を脅かす病気による問題に直面している患者さんやご家族のつらさを和らげ、その人らしく生活を送ることができるよう、総合的に支えていく医療やケアのことを言います。

緩和ケアは治療時期に関わらず、がんと診断された時から、いつでも受けることができ、その人の“つらさ”に目を向けで行われます。

緩和ケアチームの活動は、痛みへの専門的な対処や気持ちのつらさを和らげる治療やケアを行っています。通院中は診察時に緩和ケアチームのメンバーが伺い、入院中は病室に伺います。

緩和ケアチームのメンバー

○医師（内科・外科・精神科・麻酔科）
・症状緩和のための治療法を検討
・不安や不眠などの心の悩みの相談
・痛み止めの調整をします。

○看護師
・患者さんやご家族のお話を伺い、希望する日常生活が送れるよう援助します。

○薬剤師
・薬の内服方法・内容を考えます。

○臨床心理士
・心の悩みを伺い、精神的・心理的への対応をします。

○ソーシャルワーカー
・退院後の生活など心配について相談にのりサポートします。

その他、栄養士・作業療法士なども一緒にチームで支援させて頂きます。

主な相談内容

☐ 痛みがあつてつらい
☐ 吐き気がある
☐ 息苦しさがある
☐ 夜眠れない
☐ 不安やイライラがある
☐ 気分が落ち込んでいる
☐ 麻薬の痛み止めは飲んでよいのか？
☐ 自分らしく穏やかな生活を送りたい
☐ 本人とどう接したらいいの？
など

緩和ケアチームでは、主にがん患者さん、ご家族の相談に対応しています。

がん診療連携拠点病院として

がんに対する治療を積極的に行っています。がんの治療中や療養中には様々な苦痛が生じます。

近年、これからの苦痛を緩和する医療が、がんの治療と並行して提供されるようになってきています。

当院では、緩和ケアチームのメンバーが専門性を生かして主治医と病棟・外来スタッフと連携しながら、患者さんとご家族の苦痛を緩和したいと治療や療養のサポートを行っています。



緩和ケアについて話を聴きたい・緩和ケアを希望される方は、医師・看護師にお尋ねください。

佐野厚生総合病院
緩和ケアチーム

〒327-8511

栃木県佐野市堀米町 1728 番地

TEL 0283 (22) 5222 (代)

FAX 0283 (21) 3204

E-mail soudan@jasanoko.or.jp

緩和ケアチームのご案内



佐野厚生総合病院
緩和ケアチーム

がん相談に関する窓口情報

地域がん診療連携拠点病院
佐野厚生総合病院

- I 電話相談窓口 実施しています
- ・電話番号 0283-22-5222(病院代表)
→ 「医療福祉相談室」
 - ・曜日と時間 病院診療日 9:00～16:30 (平日)
9:00～11:30 (第1,3,5土曜日)

- II 対面相談 実施しています
- ひとまず上記の電話相談窓口へご連絡ください

- III FAX 相談 実施しています
- FAX 番号 0283-21-3204

- IV E メール相談 実施しています
- E メールアドレス soudan@jasanoko.or.jp

- ・ ご相談される方々の不安なお気持ちに配慮し
誠実に対応させていただきます
- ・ すべて無料です
- ・ ご連絡お待ちしております

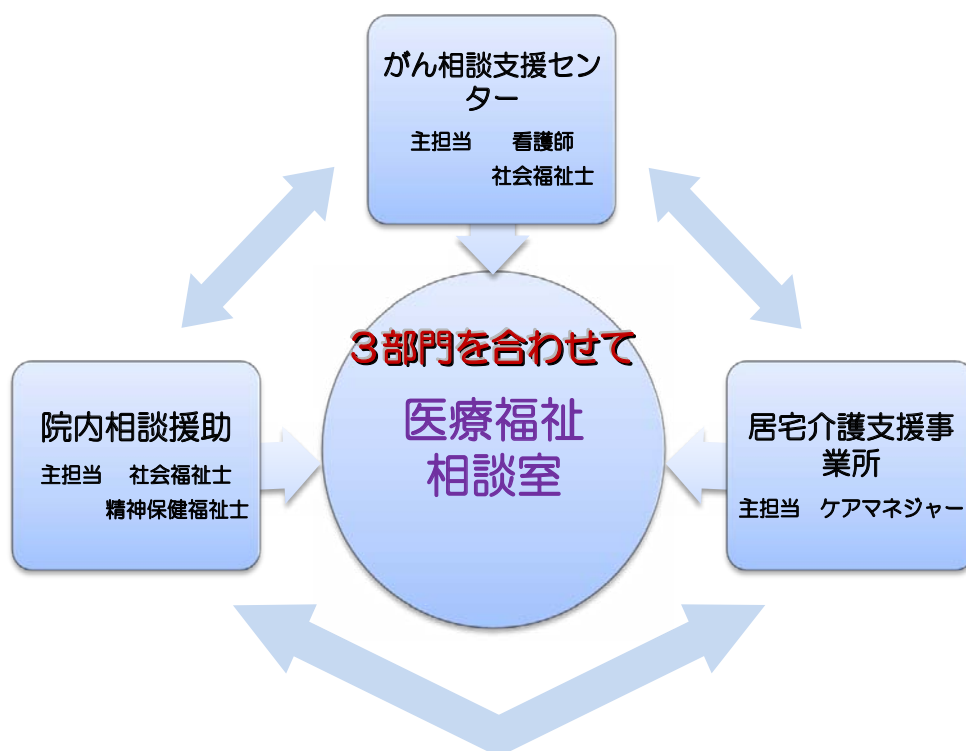
医療福祉相談室は佐野厚生総合病院内 1階 薬局側に御座います。入り口には看板がありますので、そちらを目印にしてください。

平成24年1月 佐野厚生総合病院病院長 奥澤星二郎
がん（緩和ケア）専従看護師 宮崎好美
医療福祉相談室MSW 新井拓也

○ 医療福祉相談室

医療福祉相談室は佐野厚生総合病院の福祉関係における総合相談窓口であり、**4名のソーシャルワーカー**（社会福祉士、精神保健福祉士、ケアマネジャー）と**1名の看護師**（がん(緩和ケア専従)看護師）により構成され、院内のみならず院外の各関係機関とも連携を取り合いながら皆様からのご相談をお受けしております。

医療福祉相談室は3つの部門で成り立っており、仕組みは以下のようになります。また、3つの部門は完全に分かれているわけではなく、それぞれが相互に協力し合いながら業務を行っております。



相談等にかかる費用は無料となっております。

ご利用される方につきますのプライバシー、またご相談についての秘密は厳守致します。

予約は特に必要ございませんが、事前にお電話等で相談希望日時をお知らせいただくと確実に会えるので、お奨めです。

『院内相談援助』業務

院内外や関係機関等の万（よろず）相談窓口です。

病気や怪我などに罹りますと、健康なときには思いもしなかったような困った問題が生じることが多くあります。そのような諸問題に対し、患者さまやご家族さま達と一緒に考え、問題の軽減や解決のサポート（お手伝い）をさせていただきます。

主な相談内容としましては・・・

- ・ 医療費や生活費等の経済的問題について
- ・ 退院後の療養生活について
- ・ 障害手帳、介護保険等の保険・医療・福祉制度の活用について
- ・ 地域の社会資源の情報や活用について
- ・ 各種施設、医療機関等の利用方法（入所・転院等）について
- ・ 病気や治療等についての心配や不安について
- ・ その他、誰に相談していいか分からず困っていることについて

・・・等々があります。

『がん相談支援センター』

がんに係る相談窓口となります。がん患者さまやご家族さまたちの、がんに関連する様々な諸問題に対して一緒に考え、問題の軽減や解決のサポート（お手伝い）をさせていただきます。

主な相談内容としましては、『院内相談援助』業務の相談内容に加えて、

- ・ セカンドオピニオンについて
- ・ アスベスト・中皮腫について
- ・ 緩和ケアについて
- ・ その他、がんに関することで誰に相談していいか分からず困っていることについて

など、がん独自のご相談をお受けしております。

また、当センターは院内緩和ケアチームの一員にもなっており、主にがん(緩和ケア)専従看護師がその業務に当たっております。

悩みは1人で抱えてしまうと、どんどん大きくなってしまいます。どうぞお気軽ご相談ください！！

場所： 1階 正面玄関左奥

時間： 平日（月～金） 8:30～17:00

第1・3・5土曜日 8:30～12:30

休診日： 第2・4土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)
創立記念日(7月17日)

連絡先： TEL 0283-22-5222（代表） 0283-21-3204（直通）

FAX 0283-21-3204

E-Mail soudan@jasanoko.or.jp

モットー： 『ネットワークを大切に フットワークを軽くして ハートワークで向かい合う』

療養に関する お困り事・心配事はありませんか？

地域の医療機関と連携し、患者さんのスムーズな受入れと、退院に向けた支援を行っています。また、当院に通院・入院中の患者さんやご家族の方の療養や入退院に伴う生活上の問題点や不安・心配事に関するご相談をお受けしております。

医療福祉相談



- * 社会福祉制度・社会保障制度に関する各種相談をお受けします
- * 疾病による心理的・社会的・経済的問題や悩みの相談をお受けします

がん相談 (がん相談支援センター)



- * がんに関する不安や悩み、治療の内容や副作用への対処方法、在宅療養や経済的な不安などさまざまな相談に対応します
- * 毎月最終水曜日に患者さんが集まる『なごみサロン』の開催もしています

患者支援センター

在宅移行・転院相談



- * 退院後の在宅医療（かかりつけ医・訪問看護ステーションなど）施設療養の相談や施設紹介をします
- * 地域医療機関への転院の相談をお受けします
- * 福祉サービス、行政機関、受け入れ施設等との連絡調整を行います

その他受診における相談



- * 入院や通院における心配事に対して面談によりお伺いします

入院中の患者さんやご家族の相談、退院後でも各種相談をお受けしています。方法は、直接外来棟1階にある患者支援センターへお越しいただくか、病棟看護師より連絡をしてもらってください。

お問合せ先：患者支援センター

TEL 027-220-7858 027-220-8547

受付時間 平日 8：30～17：00（土・日・祝日・年末年始除く）

第16号

群大病院 地域連携だより

病院の理念

大学病院としての使命を全うし、
国民の健康と生活を守る。

基本方針

安全・納得・信頼の医療を提供する。
次代を担う人間性豊かな医療人を育成する。
明日の医療を創造し、国際社会に貢献する。
医療連携を推進し、地域医療再生の拠点となる。

患者支援センター 今後の展界

患者支援センター センター長 齋藤 繁

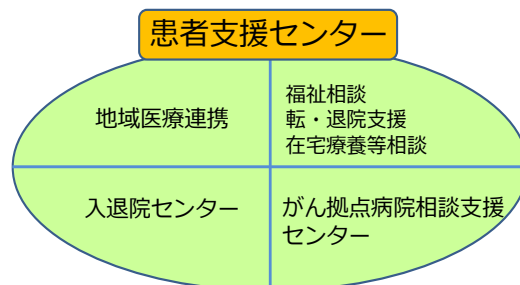


前任の酒巻哲夫センター長のご退任を受け、今年度から群馬大学医学部附属病院患者支援センターを担当させて頂くことになりました。元々の専門分野は麻酔科蘇生科で、手術部、集中治療部など、どちらかというと病院の奥座敷的な部署を主たる勤務エリアとしておりましたので、病院のゲートキーパー的な部署の業務には不慣れな点が多々ありますことをあらかじめお詫び申し上げます。

以前の大学病院は科別の独立性が非常に高く、各専門科の城主による独裁的態勢のもとに業務が行われていたとしばしば批評されます。科別の敷居も極めて高く、同じ病院の中でも診療の形態や方式が大きく異なっていたようです。しかし、現在ではそうした縦割りのシステムが次第に改められ、共通項的な業務は横断的専門部署に集約しつつあります。手術部や集中治療部は病院奥座敷の横断的部署に相当しますが、患者支援センターは病院出入口の横断的部署になります。やっと黎明期から脱し、徐々に本格的なセンターとしての体裁を整えつつある段階ですので、まだまだ包括的な活動を多くの方々に認知して頂けるレベルには達していませんが、職員数も段階的に増員され、一同切磋琢磨しつつ業務拡大と改善に努めておりますので、皆様方のご支援ならびにご助言を宜しくお願い致します。

現在の患者支援センターの構成と業務内容については、下記のようになっております。(1) 地域医療連携：地域の各医療機関と群馬大学医学部附属病院との診療連携を調整する業務を行います。紹介患者さんの予約や退院後の紹介元医療機関への逆紹介などを行います。(2) 入退院センター：群馬大学医学部附属病院に入院する患者さんの入院後の診療がスムーズに開始されるように、入院前からサポートを行います。また、退院に向けての様々な調整を行います。(3) 福祉相談：利用可能な様々な福祉サービスを紹介し、患者さんの生活支援を行います。(4) がん拠点病院相談支援センター：がんの患者さんの様々な悩みにお答えし、治療オプションの紹介や在宅療養のサポートを行います。

群馬大学医学部附属病院の診療は地域の医療機関の方々のご理解とご協力なくしては成り立ちません。患者支援センターが病院の渉外活動部署として地域の皆様方のご要望を広く吸収する窓口となるよう努力致しますので、ご意見ならびに各種情報等ございましたら、どうかお気軽にお声がけ頂きますようお願い申し上げます。



群馬大学医学部附属病院
患者支援センター（連携担当）

患者支援センターホームページ

〒371-8511 前橋市昭和町三丁目 39 番 15 号

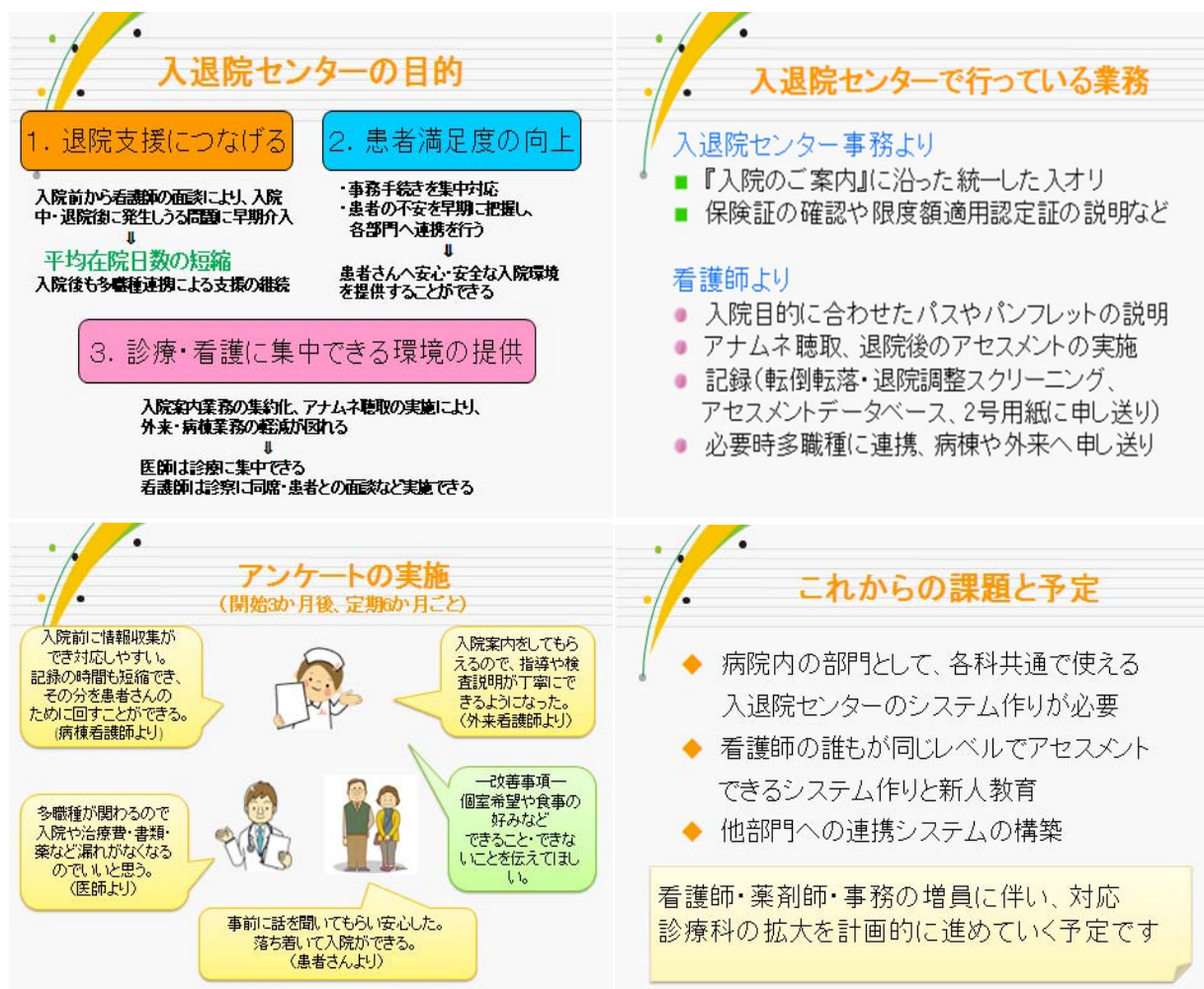
電話 027-220-7733

FAX 027-220-7777

<http://kanjasien.dept.showa.gunma-u.ac.jp/>

入退院センター始動 1 年～次のステップに向けて～

平成 24 年 4 月 16 日、入退院センターが開設しました。昨年の実績と今年度の予定を報告します。薬剤師や看護師、事務の増員に伴い、平成 25 年度はさらに対応診療科を拡大していく予定です。



	平成 25 年 3 月	平成 24 年度実績
入退院センター対応患者数	184 人	1298 人
全入院患者数	1196 人	14370 人
実施割合	15. 4%	9. 0%

* 現在対応している診療科：婦人科、第 3 内科、泌尿器科・消化器外科（一部）

* これから対応予定の診療科：呼吸器外科、循環器外科、放射線科

以降、順次対応診療科の拡大予定です。

患者支援センター業務と連絡先

業務内容	連絡先	担当者
相談業務 医療福祉相談等 介護保険の相談 医療費に関する相談 転院・在宅療養等の相談 転院先の情報提供・連絡調整 訪問看護や往診医との連携など (がん)相談支援センター業務 神経内科看護相談	027-220-7858 8547	看護師・MSW
連携業務 病診連携FAX予約業務 セカンドオピニオン外来 脳卒中地域連携パス がん診療地域連携パス	027-220-7733 027-220-7858	事務 事務・MSW 看護師
入退院センター業務 入院案内・情報収集(アナムネ聴取)・コンサルテーション	027-220-8777	看護師・外注事務

第4回群馬大学医学部附属病院

地域医療連携施設交流会のお知らせ

地域に根ざした病院として、現在までに登録いただいた地域医療連携施設との前方・後方連携をさらに深め、相互理解と意見交換等を目的とするもので、平成25年度においても下記のとおり実施いたします。

なお、地域医療連携登録施設の皆様には別途、ご案内を送付いたします。

- ・ 日時: 平成25年7月18日(木)
I 部 18時00分～19時10分 II 部 19時20分～20時40分
- ・ 場所: 前橋市商工会議所(2階 ローズの間及びサクラの間)
- ・ 内容: 群馬大学医学部附属病院からの各種活動報告, 意見交換等

重粒子線医学センターからのお願い

診療を円滑に行うため、初診予約時に画像資料と組織標本(プレパラート)のご準備をお願いいたします。

重粒子線医学センター外来の初診予約は完全予約制となっておりますので、医療機関より FAX にてお申し込みをお願いいたします。

初診予約枠の変更について

初診予約をお取りできる曜日が以下のとおり変更となりました。

- ・ 産科婦人科 産 科 月・火・木・金
 婦人科(一般) 月・水・金
 婦人科(不妊症外来) 月・金
- ・ 重粒子線医学センター 月～金(疾患により曜日を指定させていただく場合があります。)



日時

平成25年

6月29日(土)

13:30~16:30

(開場 13:00)

会場

群馬会館

(群馬県庁前)
前橋市大手町2-1-1

市民講座

プログラム

教育講演

座長：群馬大学医学部附属病院患者支援センター長 齋藤 繁

「最先端の胃癌治療」

埼玉医科大学総合医療センター 消化管・一般外科 教授 持木 彫人先生

特別講演

座長：群馬大学大学院保健学研究科 看護学教授 二渡 玉江

「働きながら治療を続けるために」

ー患者さんにできること、職場にできることー

北里大学医学部公衆衛生学 准教授 和田 耕治先生

交流茶話会

どなたでもご自由に参加いただけます

申込み 不要 (当日、直接会場へお越しください)

費用 無料

駐車場 群馬県庁駐車場をご利用ください

お問い合わせ先 TEL: 027-220-7854 群馬大学病院医療サービス課



主催 群馬県がん診療連携拠点病院連絡協議会／群馬県

指定 日本医師会生涯教育講座3単位 (カリキュラムコード 1,6,7,14,21,53)

日本薬剤師研修センター認定1単位 日本病院薬剤師会生涯研修認定1単位

共催 国立大学法人群馬大学医学部附属病院／群馬県がん患者団体連絡協議会／公益財団法人群馬県健康づくり財団／がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

後援 群馬県医師会／群馬県看護協会／群馬がん看護研究会／群馬県薬剤師会／群馬県病院薬剤師会／上毛新聞社／群馬テレビ

申込
不要

相談支援センターのご案内

患者さんやご家族のご相談をお受けしています。

●たとえば、こんなときにご相談下さい。



このようなことなど、療養中のことでご相談をご希望の方は、お近くのスタッフ（医師・看護師等）へお話しいただくか、相談支援センター受付カウンター（本館1階 会計窓口の反対側）へ直接おこしてください。ソーシャルワーカーや担当の職員が皆様のお話を伺い、一緒に考え、課題の解決のお手伝いをさせていただきます。なお、直ちに相談をお受けできない場合があります。その際は、相談日時の予約をとらせて頂きます。

●相談受付時間 月曜日～金曜日午前9：00～午後4：30（土日祭日除く）

※土曜日は、事前予約のみ9：00～11：30

前橋赤十字病院 相談支援センター

027-224-4585（内線2511・2512）

退院支援のご案内

～退院後の生活が心配な方へ～

●たとえば、こんなときにご相談下さい。



このようなご心配がある方は、相談支援センターソーシャルワーカーと退院支援室看護師がご相談に応じます。ご希望がありましたら、お近くのスタッフ（医師・看護師等）へお話しいただくか、相談支援センター受付カウンター（本館1階 会計窓口の反対側）へ直接おこしてください。退院後の生活についてお話を伺い、一緒に考え、安心して退院できるよう支援します。なお、直ちに相談をお受けできない場合があります。その際は、相談日時の予約をとらせて頂きます。

●相談受付時間 月曜日～金曜日午前9：00～午後4：30（土日祭日除く）

※土曜日は、事前予約のみ9：00～12：00

前橋赤十字病院 相談支援センター・退院支援室

027-224-4585（内線2511・2512・2517）

B:勉強会ちらし

関係者各位

平成25年度
相談支援センター勉強会のお知らせ

「医療費の制度について」

今回は「医療費の制度」を紹介させていただきます。
この機会に、医療費に対する理解を
皆さんの参加をお待ちして
資料の準備の都合上、6月3日（月）までに参加者を！

日時：平成25年6月6日
時間：18時～19時
場所：東館2階 TVカン
講師：相談支援センター

関係者各位

平成25年度
相談支援センター勉強会のお知らせ

『退院支援・いつやるか？
今でしょ！』

退院支援は、意思決定支援と言われています。事例を交えながら具体的なお話を予定です。入院前の外来から治療による変化を共有して退院後の生活のイメージを持つことも必要です。病棟だけではなく外来の皆さんの参加もお待ちしています。

日時：平成25年5月30日（木）
時間：18：00～19：00
場所：東館2階 テレビカンファレンス室

資料の準備の都合上、5月27日（月）までに参加者人数のご連絡をお願いします。
発行：相談支援センター（内線3175）



平成25年度

5月30日 「退院支援について」
6月6日 「医療費制度について」
7月4日 「介護保険制度について」
10月3日 「怒り」事例検討
11月21日 「地域連携」



B:患者サロン「いこいの場」



患者サロン「いこいの場」
参加申し込み書

患者さんやご家族の集いの場です。
病気のことや日々の生活のこと^{etc} ゆつくり語り合いませんか？

日時：平成25年9月10日(火)13時30分～16時30分(13時から受付)

対象者：当センター外来通院中の患者さん・ご家族

内容：情報交換、語り合い、小講義「笑いヨガ」さやま笑いヨガ 園田様

場所：南館 講義室(リハビリ室の奥)

費用：無料

申込方法：下記に必要事項を記入し、相談支援センター
(東館1階デイケアセンター内、奥)に直接お申し込みください。
郵送でも受け付けます。

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室818
埼玉県立がんセンター 相談支援センター

申込期限：平成25年9月3日(火)申し込みが間に合わなかった場合はご相談ください。

問い合わせ：相談支援センター 048-722-1111(代) 内線317号

がんをつくろう!!

平成25年度

開催頻度：毎月1回

開催時間：3時間

対象者：埼玉県立がんセンター通院患者・家族

内容：語り合い、情報交換、小講義(奇数月)

小講義：「こころの変化」「自分の力」「笑いヨガ」
「栄養について」「音楽」「リハビリ」など



「いこいの場」参加申し込み書

1. 参加される方のお名前
2. 患者さんについてお尋ねします。
 - ・診察券の番号
 - ・病名
3. 現在、何かお困りのことがありますらお書きください。

B・C:パンフレット

二つ折りタイプ
(外側)

患者サロン ～いいこの場～

病気のことや日々の生活の不安、体験などを

お話いただく会を開催しています。

参加者同士のつながりが深まるきっかけになることを

目的としています。

参加できる方は、当センターに外来通院している患者さんとご家族です。参加費用は無料です。開催日時は院内のポスター、またはホームページをご覧ください。

ご参加をお待ちしております。

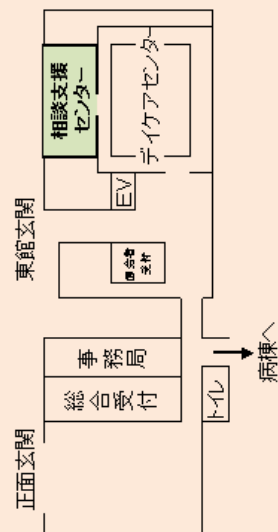


地域連携・ 相談支援センター のご案内

連絡先 埼玉県立がんセンター 048-722-1111(代表)

相談支援センター (内線 3175)

場 所 東館1階 デイケアセンター内



発行:相談支援センター (2013年8月改訂)

B・C:パンフレット

二つ折りタイプ
(内側)



相談支援センターでは、患者さんや

ご家族からのがんに関する疑問や不安、

悩みをお伺いします。

たとえば・・・|

- ・がんのことやがんの治療について（下記※参照）
 - ・医療・福祉・介護等の制度について（介護保険、訪問看護、身体障害者手帳など）
 - ・自宅での生活（食事、排泄、清潔など）について
 - ・医療的な処置（傷や在宅輸液など）について
 - ・医療費・生活費について
 - ・医療者や家族との関係について
 - ・地域医療機関との連携
 - ・だれに相談してよいかわからない
- 「どうしよう…」と思っていることについてなど

※ 個別の治療に関する相談については、セカンド・オピニオンにて、専門医師が対応しております。ご不明な点は、相談支援センターにご連絡ください。

相談の内容により、看護師やソーシャルワーカーが、

皆さんのお話を伺い、一緒に考えながら問題解決のお手伝い

をさせていただきます。必要に応じて、院内の専門職(医師、

薬剤師、栄養士、リハビリスタッフなど)や地域の関係機関

と連携をとります。

相談時間

- ・月～金曜日（祝祭日、年末年始を除く）
- ・午前9時～午後4時

相談方法

- ・電話もしくは面談です。
- ・面談は、原則として予約制です。
 - ※事前に電話で予約を取っていただくか、担当医師や看護師にお申し出ください。
- ・面談日の当日は、相談支援センターに直接お越しいただくか、総合受付へお声かけください。
- ・費用は無料です。

B-C:ホームページ

埼玉県立がんセンターは、野洲野村ががん診療事業を創設して、地域の医療とがん研究の中間機能を担う、がん専門病院です。

埼玉県立がんセンター

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室 818 電話 048-722-1111 (代表) FAX 048-722-1129

診療内容紹介

センターご利用案内

地域医療連携

センター概要

職員募集

チーム医療の実践

診療内務総合ポータル

消化器がん

呼吸器がん

乳がん

センターを利用される方へ

診療内

受診案内

治療へのご協力をお願い

臨床研究・看護のご紹介

センターからのお知らせ

「埼玉県立がんセンター」Seo 業務公開型プロポータルのお知らせ

月3日更新

図鑑型利用案内

交通案内

診療担当表

セカンドオピニオン外来

NCDEについてのお知らせ

呼吸器

消化器

乳腺

泌尿器

皮膚科

小児科

産婦人科

都道府県がん診療連携拠点病院としての活動

地域医療連携ポータル

情報会・セミナー

学術会・セミナー

学術文献サービス

学術文庫サービス

相互支援センター

地域医療連携の皆様へのお知らせ

「がん治療連携推進道科」に準る「埼玉県医師会連携手術」を掲載しました

「がん治療連携推進道科」の施設基準の届出に係る「地域医療連携推進道科」

センターを支えるスタッフ

職員募集ポータル

レジデント

ナース

ボランティア

コメディカル

臨床工学技士(ME)

がんセンター新病院情報

平成25年12月末オープン予定

新病院紹介人「ビー」(26.3MB)

新病院への建樹寄付募集中

新病院の価値創造に関するご案内

診療関連部門のご案内

看護部

薬剤部

放射線管理室

放射線技術部

検査技術部

栄養部

栄養サポートチーム

ディケアセンター

手術部

緩和ケアチーム

緩和ケア病棟

無菌治療病棟

遺伝がんセンター外来

医療安全管理室

臨床工学部

リハビリテーション部門

臨床連携研究所

図書館

リンク

埼玉ホームページへ

診療科のご紹介

消化器内科

消化器外科

呼吸器内科

胸部外科

乳腺腫瘍内科

乳腺外科

形成外科

頭頸部外科

歯科口腔外科

婦人科

泌尿器科

整形外科

脳神経外科

血液内科

皮膚科

麻酔科

放射線科

緩和ケア科

精神神経科

産婦人科・小児科

病理診断科

検査管理室

都道府県がん診療連携拠点病院指定(2008年)

全国がん成人病センター協議会加盟施設

埼玉県立がんセンターは、野洲野原がん診療連携拠点病院として、地域の癌がん医療とがん研究の中枢機能を担う、がん専門病院です。

埼玉県立がんセンター

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小宮 818 電話 048-722-1111 (代表) FAX 048-722-1129

診療内容紹介

地域医療連携
おかけせ
研学会・セミナー
キャンサーバード
地域連携・相談支援センター
医文データベース

地域医療連携

おかけせ
研学会・セミナー
キャンサーバード
地域連携・相談支援センター
医文データベース

相談支援センター

ホーム＞地域医療連携 | 相談支援センター

2007年よりこれまで個別に活動しておりました「医療福祉相
談室」、「看護相談室」「地域医療連携室」を統合し、新たに
「相談支援センター」として発足。地域医療機関の癌病の
ニーズに対応できる体制を整えました。2008年に当センター
が都道府県がん診療連携拠点病院に認定されたことを受けま
して、地域に開かれたがん診療支援の窓口として、2階一層
の充実をはかるべく鋭意努力しております。

2013年4月に地域連携担当に専任の事務が1名、看護部1
名、ソーシャルワーカー1名が配置され、「地域連携・相談支
援センター」と名称を変更いたしました。

詳細は地域連携・相談支援センターWEBサイトをご覧ください。

埼玉県立がんセンター

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小宮 818 電話 048-722-1111 (代表) FAX 048-722-1129

相談支援センター

ホーム＞地域医療連携 | 相談支援センター

2007年よりこれまで個別に活動しておりました「医療福祉相
談室」、「看護相談室」「地域医療連携室」を統合し、新たに
「相談支援センター」として発足。地域医療機関の癌病の
ニーズに対応できる体制を整えました。2008年に当センター
が都道府県がん診療連携拠点病院に認定されたことを受けま
して、地域に開かれたがん診療支援の窓口として、2階一層
の充実をはかるべく鋭意努力しております。

2013年4月に地域連携担当に専任の事務が1名、看護部1
名、ソーシャルワーカー1名が配置され、「地域連携・相談支
援センター」と名称を変更いたしました。

詳細は地域連携・相談支援センターWEBサイトをご覧ください。

相談支援センター

ホーム＞地域医療連携 | 相談支援センター

2007年よりこれまで個別に活動しておりました「医療福祉相
談室」、「看護相談室」「地域医療連携室」を統合し、新たに
「相談支援センター」として発足。地域医療機関の癌病の
ニーズに対応できる体制を整えました。2008年に当センター
が都道府県がん診療連携拠点病院に認定されたことを受けま
して、地域に開かれたがん診療支援の窓口として、2階一層
の充実をはかるべく鋭意努力しております。

2013年4月に地域連携担当に専任の事務が1名、看護部1
名、ソーシャルワーカー1名が配置され、「地域連携・相談支
援センター」と名称を変更いたしました。

詳細は地域連携・相談支援センターWEBサイトをご覧ください。

詳細は地域連携・相談支援センターWEBサイトをご覧ください。

詳細は地域連携・相談支援センターWEBサイトをご覧ください。

詳細は地域連携・相談支援センターWEBサイトをご覧ください。

B・C:ホームページ

埼玉県立がんセンター
相談支援センター

基本理念 支援活動 ご利用案内 アクセス スタッフ リンク

→ ガイド

- Home
- 基本理念
- 支援活動
- ご利用案内
- アクセス
- スタッフ
- リンク
- がんセンターHP

地域連携・相談支援
センター連絡先

電話 048-722-1111
(内線3175)
受付時間
9:00 ~ 16:00

・ごあいさつ

これまでの「医療福祉相談室」「看護相談室」「地域医療連携室」を統合して平成18年9月1日から「相談支援センター」が新たにオープンしました。
平成25年4月1日から「地域連携・相談支援センター」と名称を変更いたしました。さまざまな不安や悩みの患者さんやご家族はさまたまいます。誰に相談してみてもわからないかと思う場合、ソーシャルワーカーや看護師が皆様の話を伺い、問題解決のお手伝いをさせていただきます。

副病院長兼地域連携・相談支援センター長
東 四雄

・TOPICS

基本理念

患者さんやご家族が病の進み、がん医療が受けられるよう、情報の提供と支援を行います。また患者さんおよびご家族の不安や疑問に適切に応えられるよう努力いたします。

支援活動

地域連携・相談支援センターでの活動をご紹介します。情報提供、医療福祉相談、通院の調整、在宅療養支援、医療連携、患者サロンの開催などを行います。

ご利用案内

当センターの患者さんやご家族に随分とご相談をお交けしております。
相談時間は月～金曜日（ただし祝祭日・年末年始を除く）午前9時から午後4時です。費用は無料です。

アクセス

地域連携・相談支援センターは東順1階にあります。デイクアセンターの入り口を入り、表示に従って左手奥に向かってください。

スタッフ

私たちが対応いたします。お気軽にご相談ください。
ソーシャルワーカー 3名
専任看護師 7名
事務員 3名

リンク

がん診療連携のサイトをご紹介します。
国立がんセンター
POG日本癌研
静岡県立がんセンター

Saitama Cancer Center

埼玉県立がんセンター
相談支援センター

基本理念 支援活動 ご利用案内 アクセス スタッフ リンク

→ ガイド

- Home
- 基本理念
- 支援活動
- ご利用案内
- アクセス
- スタッフ
- リンク
- がんセンターHP

相談支援センター
連絡先

電話 048-722-1111
(内線3175)
受付時間
9:00 ~ 16:00

・支援活動

情報提供

患者さんやご家族が抱える医療情報の提供、がん医療に関する情報発信・情報提供、地域医療機関との連携の促進などを行います。

医療福祉相談

医療費の支払い、医療・福祉・年金などの制面についてのご相談に対応いたします。

通院の調整

主治医や病棟、外来の看護士と協同し、地域の医療機関や訪問看護ステーション・往診医の紹介など通院の手配をお手伝いいたします。

在宅療養支援

外来治療中や在宅療養中の患者さんやご家族の方が安心して生活できるよう支援します。医療的処置が必要な場合のご相談にも対応いたします。

医療連携

埼玉県立がんセンターの窓口として、かかりつけ医、地域の医療機関との連携を図り、当センターへの円滑な紹介を進めます。セカンドオピニオンのご相談にも対応いたします。

患者サロンの開催

毎月1回病室のこまめな生活の不安や工夫など、お話しをいただく会を埼玉県立がんセンター内で開催しています。参加費は小額です。参加できる方はがんの診断を受けた、埼玉県立がんセンターに外来通院している患者さんご家族です。参加費用は無料なのでお気軽に参加ください。

※平成25年度の開催予定日 13:30から16:30(13:00より受付)

平成25年 8月 6日(火)
平成25年 9月10日(火) 小講義「笑いヨガ」講師:さやま 笑いヨガ 代表 園田 清一先生
平成25年10月 8日(火) 小講義予定
平成25年11月10日(火) 小講義予定
平成25年12月10日(火) 小講義予定
平成26年 1月21日(火) 小講義予定
平成26年 2月18日(火) 小講義予定
平成26年 3月11日(火) 小講義予定



地域連携サロンの開催

埼玉県立がんセンター「がん・肺・肝臓・胃・膵臓がん」の連携を促し、地域医療機関との連携を図ります。
また、がん治療を行う患者さんの口腔ケア管理を推進するため、歯科連携機関との連携を図ります。

Saitama Cancer Center

がんセンターだよ

私達は生命の尊厳と倫理を重んじ、十分な医療情報提供と患者と医師との相互に尊重と愛と奉仕の精神で医療を行います。

二つ折りタイプ
(内側)

Saltama Cancer Center News



前立腺がんPSA検診
地域連携の取り組み

高齢化、生活環境の変化により急増している前立腺がんですが、PSA（前立腺特異抗原）という血液検査で早期に診断することができます。欧米を中心に先行された臨床試験の結果、PSAを用いた検診を行うと転移がんの割合が減り、死にいたります。

PSAが異常増値を示した場合、前立腺の一部を摘出してがんの有無を調べる前立腺生検が行われ、PSAが異常増値を示さない限り、多くの自治体がPSA検診を住民健診に取り入れています。がんが見つからなかった場合は、定期的にPSAを検査して経過をみることにします。当センターでは、PSAの異常で心配いただく方の数は年々増えており、がんが見つからなかった方を当センターだけで行うのは困難になってきておられます。このためPSAが異常であつた方への対応は、がんが見つからなかった方の経過観察と地域医療機関の先生方にお願ひをいただかなければならぬ事情をふまえて、当センターと地域医療機関が連携してPSAの経過観察を円滑に行うための地域医療連携が重要視されています。

また、東武東上線池袋駅西口から徒歩約5分にある「P&A地域連携クリニカルバス」を作成しました。既にP&A地域連携センターが、埼玉県病院と共同で地域の医師会へ働きかけ、2010年8月よりP&A地域連携クリニカルバスを運行してまいりました。既に北本伊奈地区の医師会の先生方からご協力を仰ぎ、おかげさまで2011年5月の時点で12名の方が遠征バスを活用されており、その後も徐々に増えてきています。

P&A地域連携クリニカルバス（図）では半年ごとに開催されています。

[illegible]

図1) 前立腺がん検診連携/ス・紹介状

二つ折りタイプ
(内側)

Saltama Cancer Center News



「いいいのね」の紹介

加し、都立平体験を語ることで少しでも気持ちを軽くなったり、患者さんやご家族の参
かりが深まるきっかけになればと思っています。

開催日/毎月1回、1時間/45分

相談支援センターでは、患者サロン/「いいいのね」を開催しております。いいいのねの場所は、「病気のことは誰にも言えない」「家族はいつかいい悪いを言えない」「同じ病気の患者さん/家族がいたら」という患者さんの声に反応、平成21年度から開催しています。この会に参加

「お持ちこ
てーす」

「この場」に気軽に参加できるような運営方法を考えていきたいと思います。懇話サロンに近いの場に参加し、ご交友を作りましょう。ご参加をお待ちしております。

[illegible]

病院薬剤師のお仕事



に「行っている」といふことは、抗がん剤を
言った法的に規則上、麻薬や毒薬、向精神薬と
円滑な管理・規制を受ける薬剤の制度内での
「がん」という特殊性からこれらの薬品の使用
がとるべきで、事故なく安全に使用できるよ
うに努力されているのである。これからのお仕
事としては、現在は医師が行っている薬剤の
かなりの部分と薬剤師等が行っている一部と
をスキャンニングして、

C:勉強会ちらし

訪問看護ステーション所長様

がんセ第5号
平成25年5月13日

埼玉県立がんセンター
病院長 田中 洋一
(公印省略)

訪問看護ステーション・埼玉県立がんセンター相談支援センター
合同学習会開催のお知らせ

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当センターの運営につきましては、日頃格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、下記の日程で、学習会を企画しましたので、ご多用のところとは存じますが、貴所職員の参加につきましてご配慮をお願い申し上げます。

記

1. 日時

平成25年 6月20日 (木) 18:00 ～19:30

2. 場所

埼玉県立がんセンター 講堂

3. テーマおよび講師

テーマ

「管理困難なストーマおよび瘻孔ケア」

講師

皮膚・排泄ケア認定看護師

4. 申し込み方法

参加申し込みは、事業所名および参加者名を
さい。なお準備の都合がございますので、6月
申し上げます。

事業所名

訪問看護ステーション・埼玉県立がんセンタ

参加者氏名

小林 美智子

連絡先

TEL:048-722-1111 (内線3)

FAX 番号

FAX:048-723-0851

院外

平成25年度 がん看護公開講座開催
(訪問看護ステーション対象)

第1回

6月20日

「管理困難なストーマケア・瘻孔ケアについて」

第2回

7月20日

「がん性疼痛看護・がん患者の心のケア」

第3回

未定

「終末期ケア」「家族ケア」

第4回

未定

「がん化学療法看護」



院内・院外合同

(院内職員、各拠点病院、北足立郡市医師会 県内訪問看護ステーション)

11月21日「地域連携」

がん相談のご案内



当院の相談室では、がんと診断され治療を受けている方やがんかもしれないと言われ検査を受けている方などの、がんに関する様々な不安や悩みについて専従の看護師とソーシャルワーカーがお話を伺い、一緒に問題解決していくお手伝いをしております。

一人で悩まずにお気軽にご相談ください。

- * 国立がんセンターがん対策情報センターによる研修を修了した専門のスタッフが対応します。
- * 相談内容についての秘密は厳守します。
- * 相談は無料です。

当院では、『がん対策基本法』及び『がん対策推進基本計画』による、厚生労働省より指定されたがん診療連携拠点病院として、地域の皆さまのがんについての相談を実施しております。

- ◆ 治療・疾患・検査等についてよく分からない
- ◆ セカンドオピニオンについて知りたい
- ◆ 本人・家族の精神心理的な不安・苦痛について相談したい
- ◆ 手術や抗がん剤治療などの費用について知りたい
- ◆ 家族としてできる限りのことがしたい
- ◆ 退院が決まったが、自宅での介護・療養・看護ができるのか不安
- ◆ がん患者サロンについて知りたい・参加したい
- ◆ 緩和ケアについて知りたい
- ◆ アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する相談
- ◆ HTLV-1（ヒトT細胞白血病ウィルス）感染に関する相談

- ◆ 場 所：西棟 1階 「相談支援室内」
- ◆ 時 間：月曜日～金曜日 8時30分～17時15分
- ◆ 受 付：面談、電話での相談ができます。
予約がなくても相談は可能ですがお待たせしてしまう場合があります。
事前にご連絡頂けると幸いです。

- ◆ 電 話：048-735-1261（代表）

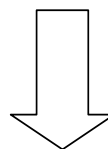
（内線 7258・7243・7395）

外来化学療法室

外来師長室

地域医療連携室

救急・面会入口



在宅医療推進室
相談支援室

救急外来



「よつばサロン」のご案内

毎月第4金曜日 14:00～15:00にふくろうの森で開催しています。

内容：自己紹介及び参加目的、注意事項説明、ミニレクチャー

(ミニレクチャーは、20分程度とし、その後質疑や情報交換)

講師のご協力をお願い致します。

対象者： がん患者さんまたはご家族
(途中の出入りもご自由です)

会場： 患者図書室 ふくろうの森



サロン開催日時

ミニレクチャー内容

14:00～15:00

平成25年 5月24日(金) 家族としての支え方

緩和ケア認定看護

平成25年 7月26日(金) 化学療法についてQ & A

がん化学療法認定看護師

平成25年 9月27日(金) からだの痛み

緩和ケア認定看護

平成25年 11月22日(金) こころの痛み

臨床心理士

平成26年 1月24日(金) 治療費と制度

MSW(社会福祉士)

平成26年 3月28日(金) 食事の工夫

NST(栄養士)

申込み・問合せ先 (がん診療連携拠点病院)

春日部市立病院

相談支援室

担当：藤井・入田

地域包括支援センターの勉強会

春日部市立病院相談支援室
～がん相談と終末期における
地域連携の現状～



平成25年5月29日(水)
春日部市立病院 相談支援室
看護師 医療福祉連携士 藤井

平成24年度 地域ケアミーティング のご案内

日時：平成25年2月28日(木)
18:00～19:00

場所：春日部市立病院
健診センターC室

対象：訪問看護師、ケアマネ、当院スタッフ等

内容：1. 事例検討会
「がん終末期患者の在宅ケアにおける連携」

2. 在宅支援者との情報交換

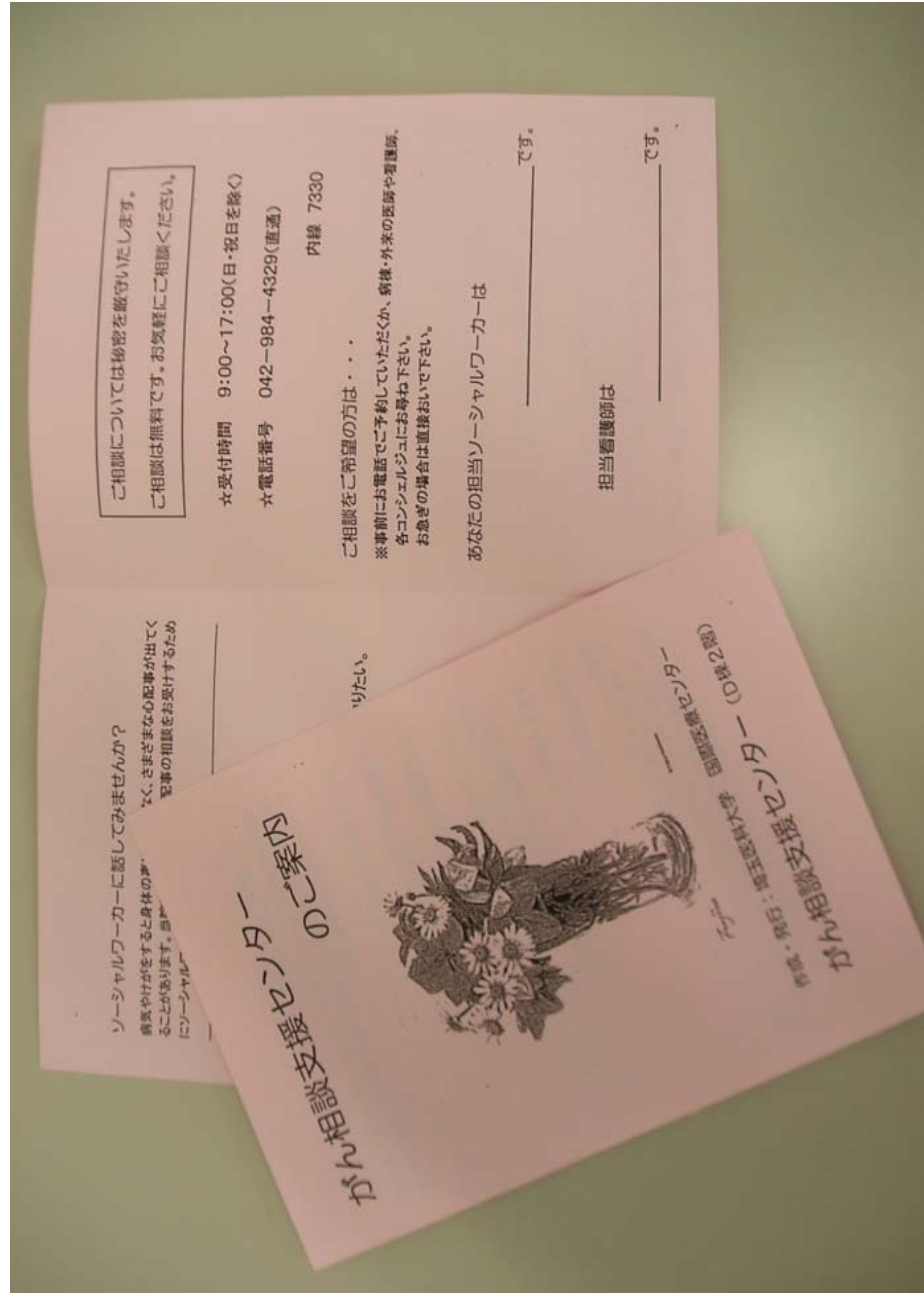
主催 春日部市立病院
地域ケア病診連携推進委員会
担当 相談支援室

がん相談支援センター



B:院内連携のためのアピール資料

がん相談支援センターのリーフレット





B:院内連携のためのアピール資料 病院案内のパンフレット

総合相談センター 医療福祉相談室

当院の心臓病センター、救命救急センター(脳卒中センター含む)の患者さんやご家族の相談をお受けています。例えば、医療費や生活費、今後の生活、リハビリテーションや療養目的の転院先のこと、身体障害者手帳や介護保険等の福祉制度について相談したい時にご利用ください。



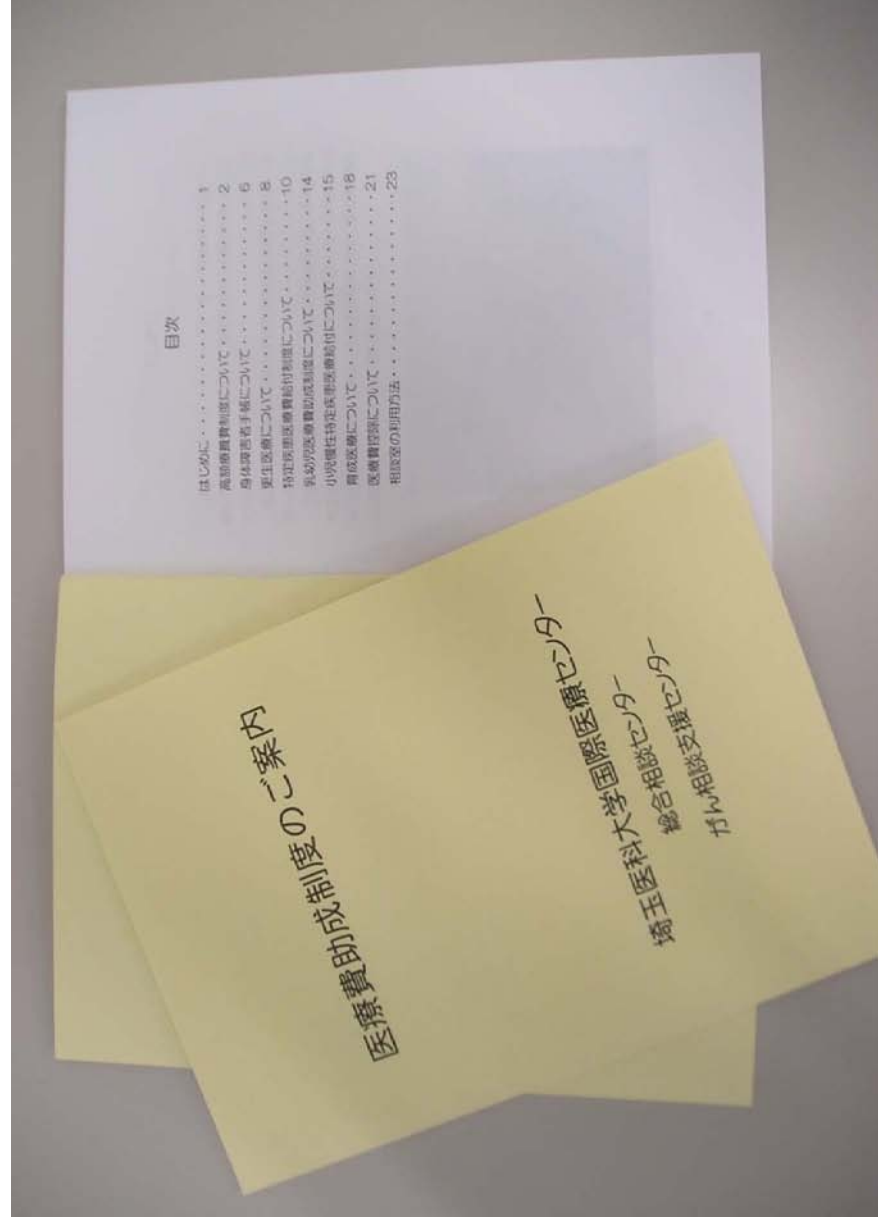
がん相談支援センター

がん患者さんやご家族が、がんについて知り納得して治療を受けるための支えとなるような情報の提供や相談支援を行っています。また、医療費や生活費、仕事や教育、在宅療養や転院、家族の生活等のがんの闘病における相談をお受けています。がん患者さんやご家族、地域の方々などなだでもご利用いただけます。

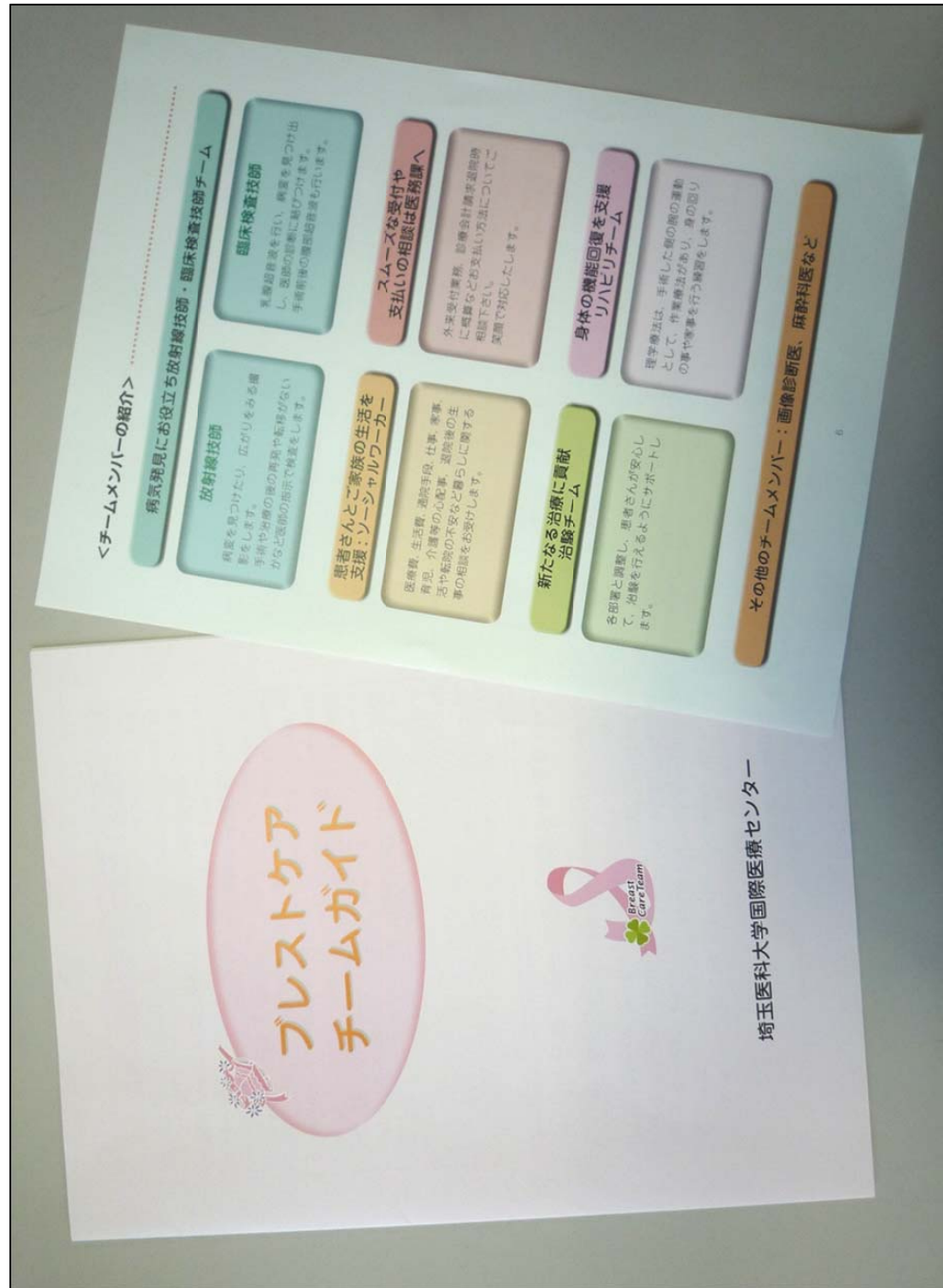


B:院内連携のためのアピール資料

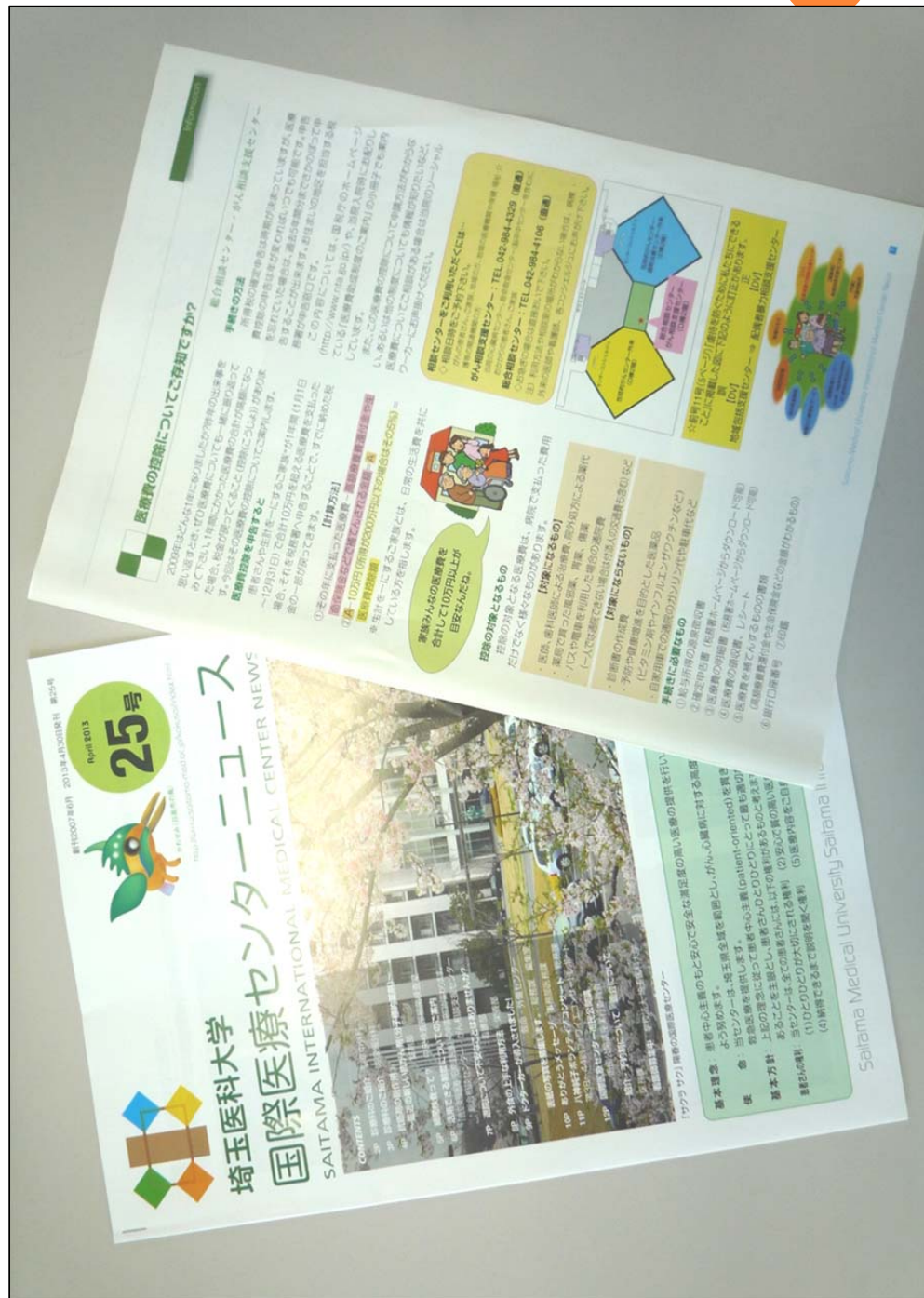
医療費助成制度の案内に関する小冊子を作成



B:院内連携のためのアピール資料 ブレストケアチームガイド



病院ニュースに療養生活に役立つ記事掲載



「がんをもっと知ろう」

がん啓蒙冊子(全48ページ)

外来にて患者さんにご自由にお持ち帰りいただいています。



「安全に、確実に、安心を」をキーワードに、 専門スタッフがチームで支えます



化学療法

CHEMOTHERAPY

化学療法(抗がん剤)

「抗がん剤」とは、がん細胞を殺す作用をもつ薬剤のことです。がん細胞は正常な細胞と異なり、無限に増殖し、周囲の組織を侵襲してきます。抗がん剤は、がん細胞の増殖を抑制し、あるいは殺すことで、がんの拡大を防ぎ、患者さんの生命を延ばすことを目的としています。

抗がん剤は、がんの種類や病期、患者さんの体質によって使い分けられます。副作用も発生しますが、専門スタッフがチームでサポートし、副作用を最小限に抑えながら治療を行います。

がんをもっと知ろう

相談支援室

がん相談支援室は、がん患者さんやご家族の悩みに応じて、がんに関する情報を提供し、心理的・経済的・社会的なサポートを行います。

相談内容は、がんの診断・治療・副作用・生活の質・経済的負担・社会的サポートなど、幅広い分野にわたります。

相談は、医師・看護師・薬剤師・社会福祉士・心理士など、専門スタッフがチームで対応します。

がん相談支援室専用ダイヤル

048-253-8941

●受付時間/月～金(祝日を除く) 10:00～15:00

お問い合わせ



「Can サロン」は、がんの体験者をご家族をサポートする会です。

がんの診断を受け心配ごとや悩みをひとりで抱えていませんか？
治療の副作用症状に辛さを感じていませんか？

がんの体験者が同じ立場で
お話を伺います。
また、同じ立場同士で交流が
深められる場となります。
7/17 (水) 開催いたします。
*お気軽にお立ち寄りください。



日 程：7月17日（水）
場 所：がん情報コーナー
（病院中央のエスカレーター下）
時 間：10：00～12：00

*参加費は無料です。

問い合わせ先

がん相談支援室（中央採血室近くにあります）

TEL 048-253-8941 平日10：00～15：00

がんサポーター

りぼん

済生会川口総合病院では、がんと共に歩んでいる、患者さんご家族を支援する
サポートシステム がんサポーター りぼん という会があります。
5月・11月に開催を予定しています

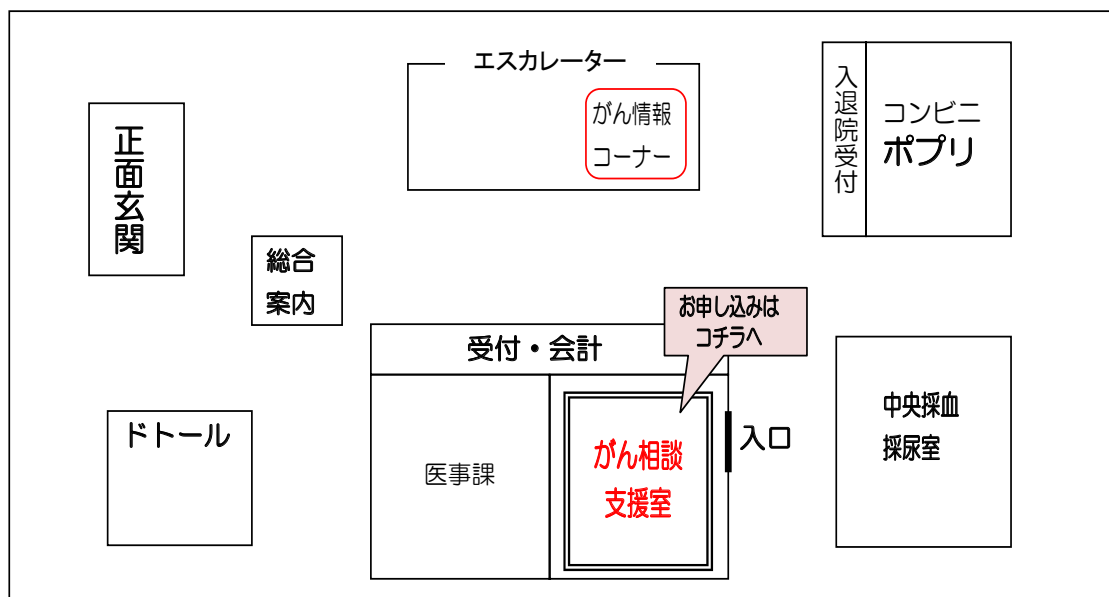
今回は、お薬について当院の薬剤師からお話をうかがいます。
また、参加者の皆さまからのお薬で疑問に思っていることについてもお答えします。
そのあと、参加者との交流を深めるための茶話会を予定しています。
参加費は無料です。ご興味のある方は、参加してみませんか。

日 程：5月27日（月）
場 所：病院3階 会議室1
時 間：13：00～14：00
内 容：お薬の飲み方 Q&A
当院 薬剤師 鈴木貴之
茶話会

*参加費は無料です

お申し込み方法

がん相談支援室 048-253-8941 平日10：00～15：00にお電話ください。
*がん相談支援室に直接お越しいただき、申込みも可能です。



報告

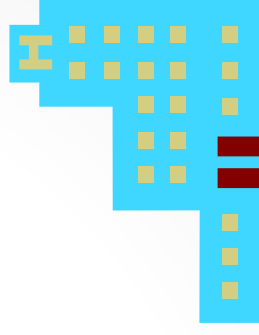
地域連携・相談支援センター の体制と業務内容



地域連携・相談支援センター
副センター長 杉崎 かおる

地域連携・相談支援センターのあゆみ

- 平成12年4月 「地域医療連携室」設置
「地域医療連携だより」の発行開始
「地域医療連携学術講演会」開催
都道府県がん診療連携拠点病院の指定
- 平成19年1月 「相談支援センター」設置
- 平成19年4月 退院調整看護師配置
- 平成20年4月 「地域連携・相談支援センター」設置
- 平成24年4月



職員体制

- ・ 地域連携・相談支援センター長(副院長)
- ・ 副センター長(看護師長)
- ・ MSW 1名
- ・ 臨床心理士 1名
- ・ がん看護専門看護師 1名
- ・ 退院調整看護師 1名
- ・ 事務員(6時間) 2名
- ・ クラーク 1名

*H25・4月からMSW1名増員予定



地域連携・相談支援センターの業務

1. 外来診療予約

外来予約業務・・・診療依頼、検査等依頼、逆紹介
返信業務等の文書管理
セカンドオピニオンの依頼・実施報告

2. 医療相談

がん相談
医療福祉相談
心理面でのサポート
退院支援
地域連携クリティカルパス
院内患者会の支援
ボランティアの受け入れ

3. 地域医療連携講演会・報告会等

4. 広報活動

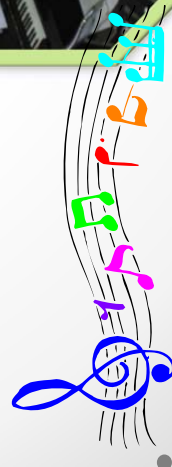
「地域医療連携だより」の発行

(年5回)



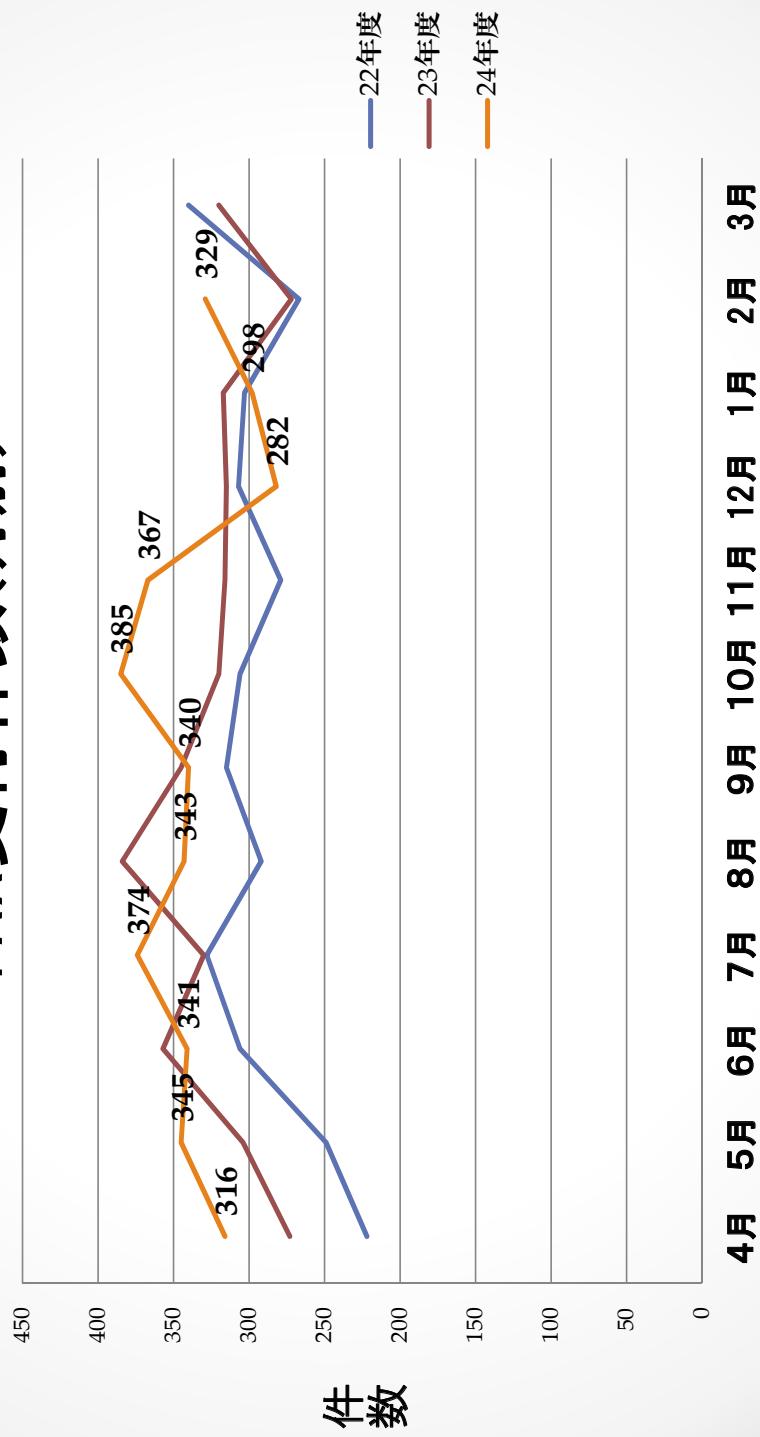
本日の紹介内容

1. 予約業務・・・外来診療予約件数(FAX受付件数)
2. 医療相談業務・・・相談内容・件数
3. 地域連携クリティカルパス・・・種類・件数
4. 患者会について
5. ボランティア活動状況について

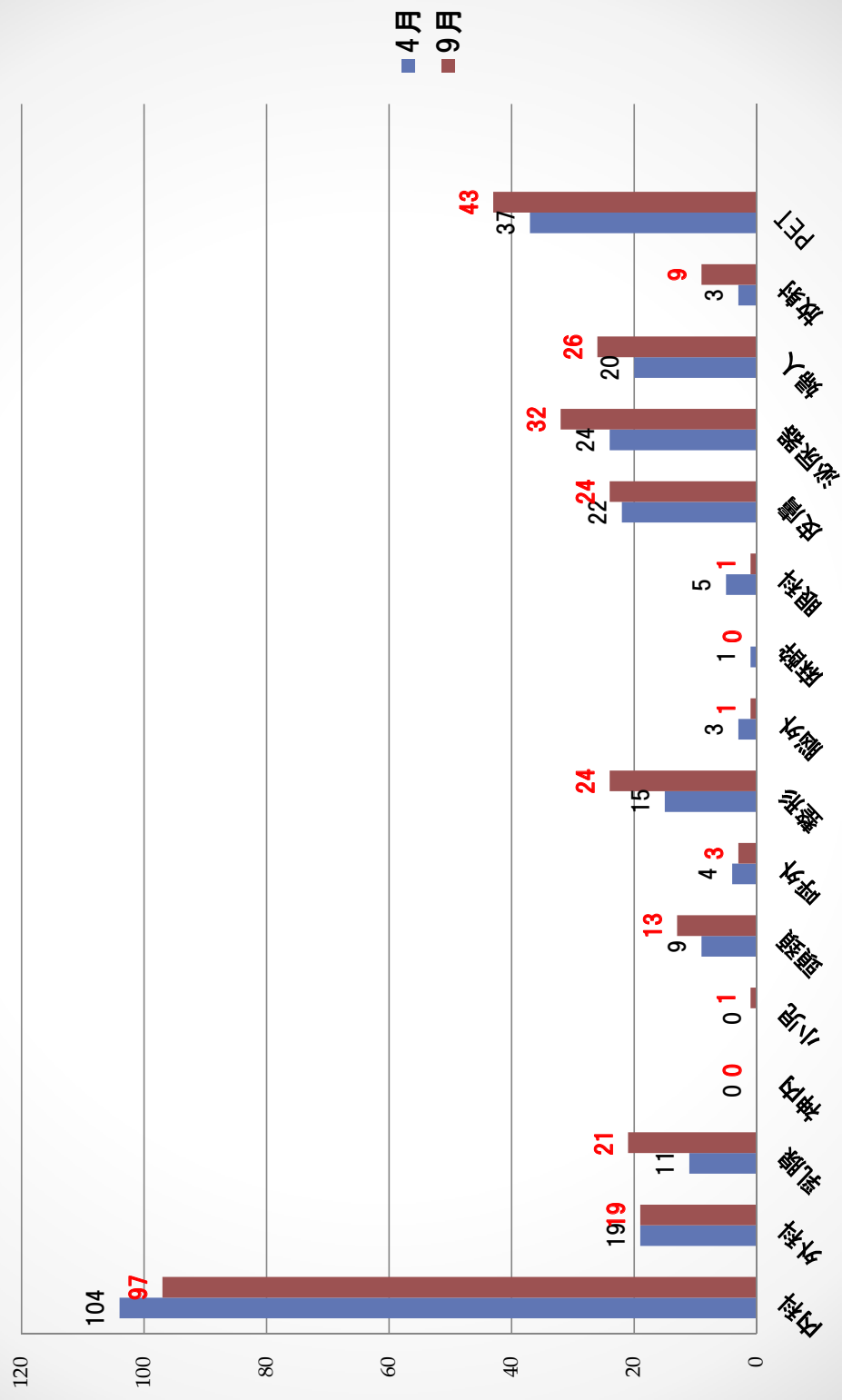


1. 外来診療予約業務

FAX受付件数(月別)

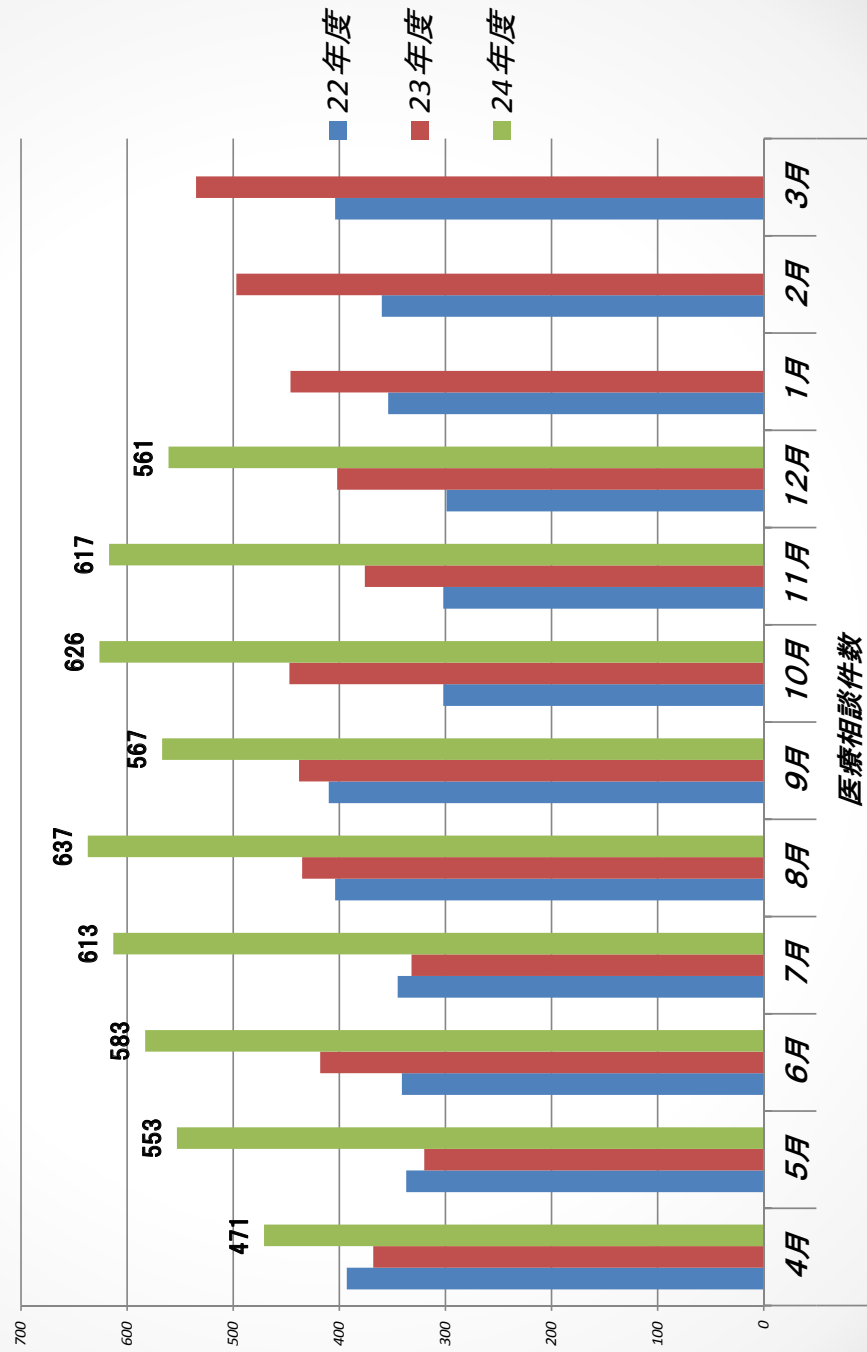


各科病診予約件数 (H24年4月-9月)



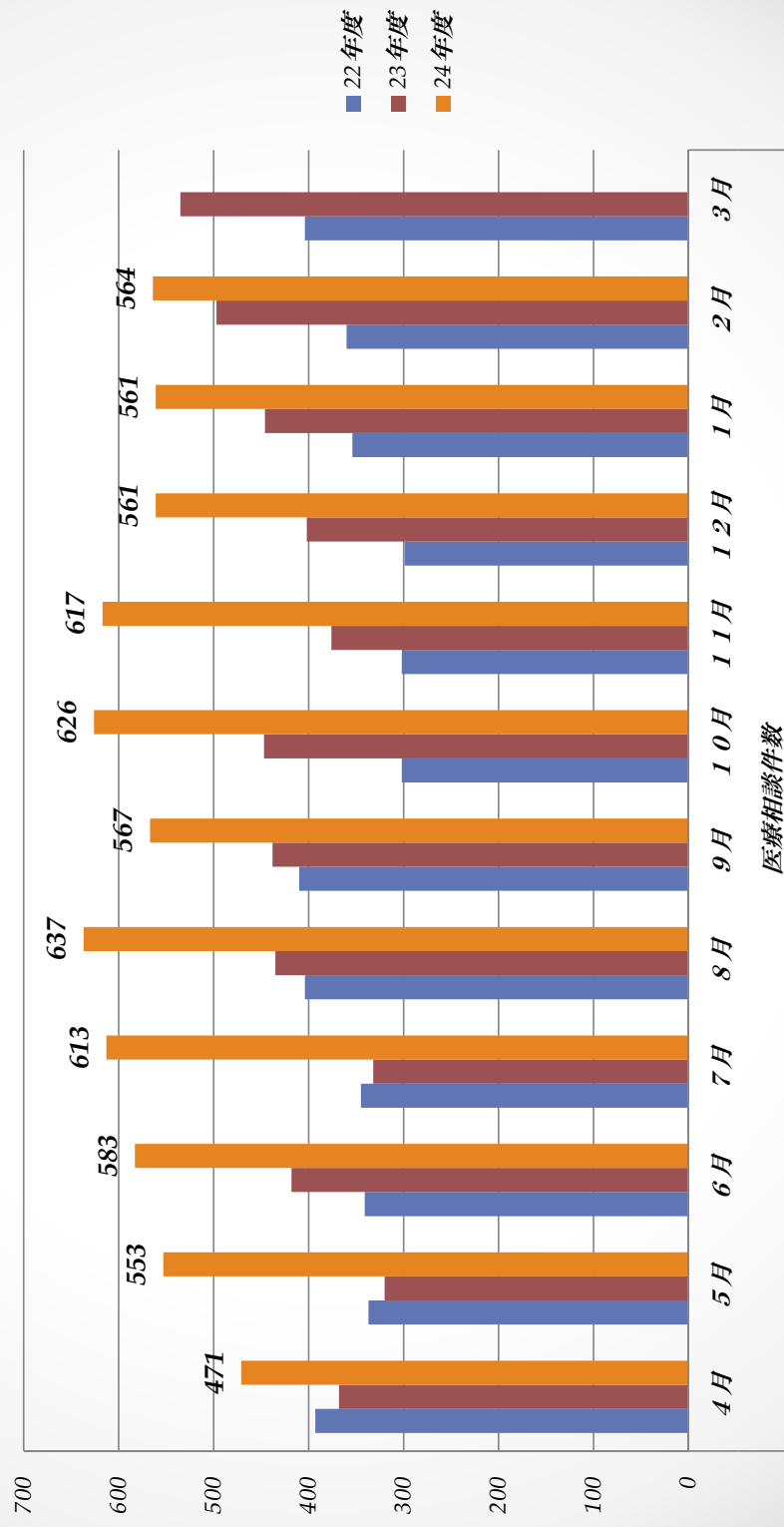
2. 医療相談業務

医療相談件数

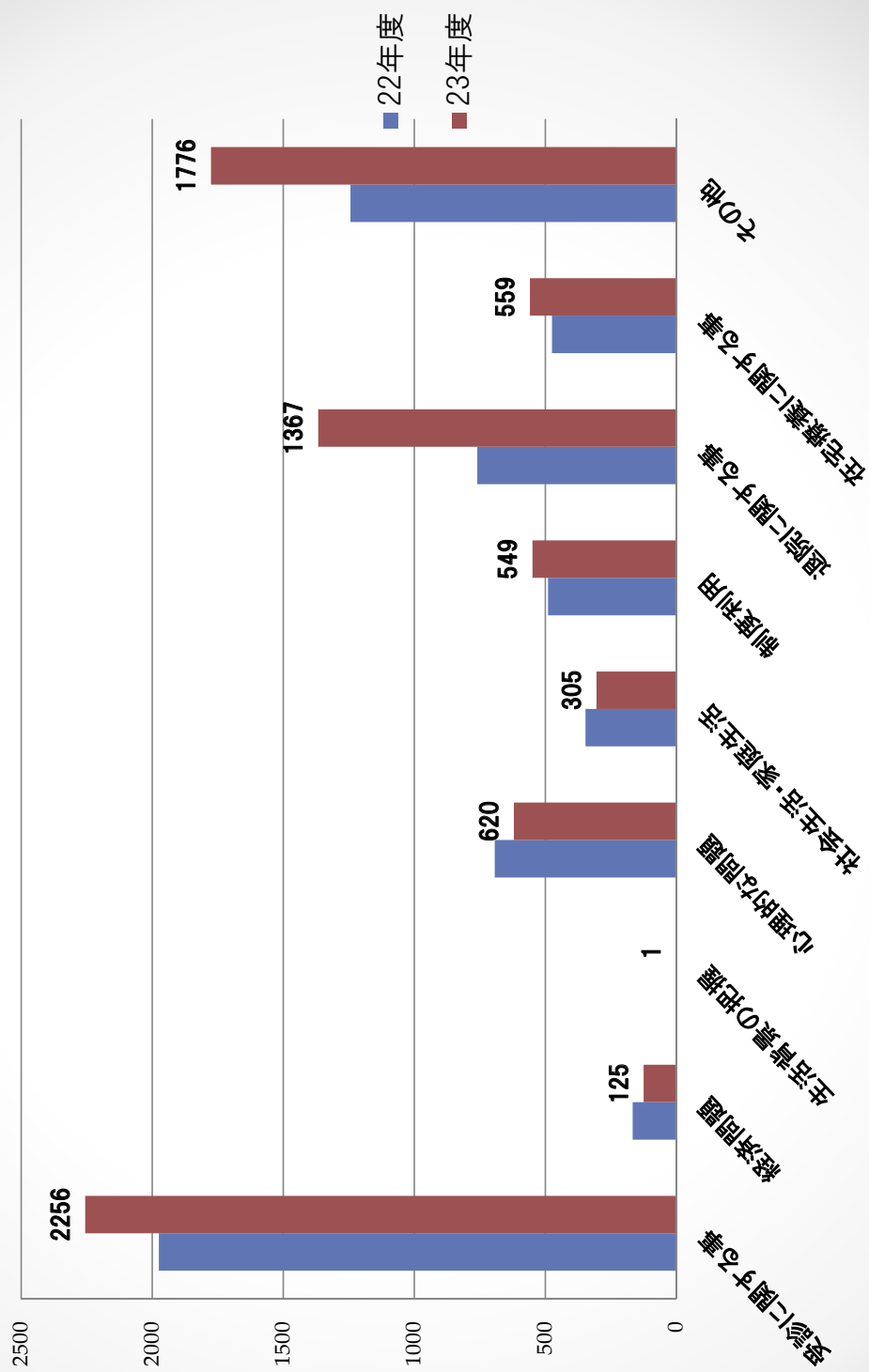


2. 医療相談業務

医療相談件数



医療相談内容



3. 地域連携クリティカルパス

平成23年度 5大がん地域連携クリティカルパス件数

肺	胃	肝	大腸	乳	合計
5件	9件	0件	0件	183件	197件

平成23年度 脳血管パス件数 8件

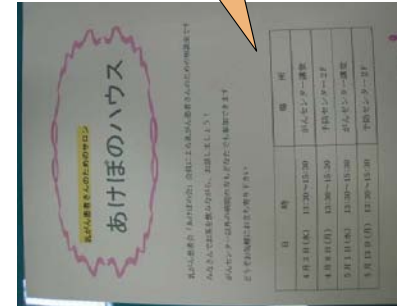
がんパスの場合、対象医療機関は原則としてがん地域連携パスを共有し、パスがん連携医療の届け出を行った機関を対象にしている。

4. 患者会（病院が関わっているグループ）

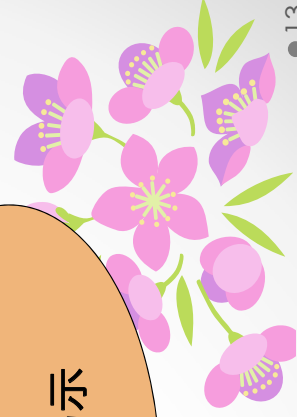
名 称	対 象
さつき会	当院受診中の前立腺がん
ひまわり会	乳がん・子宮がんなどのOP後リンパ浮腫
オークの会	小児がん体験者の会
いやしの会	がん患者の茶話会
糖尿病友の会	糖尿病患者（栄養課が連絡先）
新声トキの会	当院受診中の喉頭がん患者
がんの子供を守る会	小児がん患者の家族会

患者会（独立した会）

名 称	対 象
美鈴会	喉頭全摘した患者
雪椿友の会	人工肛門、人工膀胱を持つ方
胃友の会	胃がん患者（事務局 当院）
あけぼの会	乳がん手術体験者



案内はセンターで
作成し
院内に掲示



5. ボランティア活動状況

名 称	名 称
あかね文庫	遊び相手・遊び環境整備
巡回図書サービス「あかね文庫」	遊び相手「まんまるの会」
「からだの図書館」医療情報提供	琴教室
総合案内アシスタント	子守り
院内保育「たんぽぽ」	学習支援
院内保育サポート「きらら」	ホスピタル・クラウン



ご静聴ありがとうございました
地域連携・相談支援センター 一同



相談支援センターのご案内

医療ソーシャルワーカー・がん看護専門看護師・臨床心理士など、専門の相談員がお話をうかがい、一緒に解決のための方法を考えます。

お一人で悩まずご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守ります。

■相談内容

医療、福祉、心理、看護などの相談

たとえばこんな時・・・や治療、症状などのこ

とについて相談したい。

- ・ 退院と言われたが、介護の必要な患者の世話ができるだろうか。
- ・ 病気のことが不安でたまらない。話を聞いてほしい。
- ・ 心配事があるが、どこに相談したらいいかわからない。
- ・ 介護保険のこと、身体障害者手帳のこと、障害年金のことなどについて知りたい。
- ・ 施設やほかの病院への転院について相談したい。
- ・ 退院後、職場や学校でうまくやっていけるだろうか。
- ・ 医療費や生活費が心配。

・・・どうぞお気軽にご相談ください。

■受付時間・場所

・受付時間

月曜日から金曜日(祝日除く)の午前8時30分から午後5時まで。

※ご予約いただくとお待たせいたしません。直接またはお電話でお申し込みくださるか、看護師などを通じてご連絡ください。ご希望いただければ、病室にもおうかがいいたします。

・場所

2階売店の近くにあります



電話番号

025-266-5161 (直通)

025-266-5111 (代表)

相談支援センターのご案内

当院では、患者さんやご家族の方の医療相談に応じるため、相談体制を充実した「相談支援センター」を設置しています。

医療ソーシャルワーカー・がん看護専門看護師・臨床心理士など、専門の相談員がお話をうかがい、一緒に解決のための方法を考えます。

お一人で悩まずご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守ります。



■ 相談内容

医療、福祉、心理、看護などの相談

たとえばこんな時・・・

- ・ 病気や治療、症状などのことについて相談したい。
- ・ 退院と言われたが、介護の必要な患者の世話ができるだろうか。
- ・ 病気のことが不安でたまらない。話を聞いてほしい。
- ・ 心配事があるが、どこに相談したらいいかわからない。
- ・ 介護保険のこと、身体障害者手帳のこと、障害年金のことなどについて知りたい。
- ・ 施設やほかの病院への転院について相談したい。
- ・ 退院後、職場や学校でうまくやっていけるだろうか。
- ・ 医療費や生活費が心配。

・・・どうぞお気軽にご相談ください。

■ 受付時間・場所

・ 受付時間

月曜日から金曜日（祝日除く）の午前8時30分から午後5時まで。

※ ご予約いただくとお待たせいたしません。直接またはお電話でお申し込みくださるか、看護師などを通じてご連絡ください。ご希望いただければ、病室にもおうかがいいたします。

・ 場所

2階売店の近くにあります。



電話番号

025-266-5161（直通）

025-266-5111（代表）

新潟県立がんセンター新潟病院 地域医療連携だより

NEWSLETTER



平成 25 年 1 月

年頭のご挨拶



院長 横山 晶

明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。あわせて、昨年中の当院の地域医療連携事業に対する多大なご支援に厚く御礼申し上げます。

今年の干支は「癸巳（みずのとみ、きし）」と言っていつまでも冬眠から目覚めないような、怠け者の蛇だそうです。しかし巳（へび）は脱皮して再生する生物で、再生の象徴でもあり、震災復興3年目が少しでも明るい良い年になることを願っております。

さて、当院では昨年、地域医療連携室と相談支援センターを一体化し地域連携・相談支援センターを稼働させました。まもなく地域医療連携室と相談支援センターは居室も統合されてリニューアルされますので、患者さんに対する前方・後方支援がより円滑になるとともに、患者さんをご紹介頂いた先生方への迅速な診療情報の提供が可能になると確信しております。連携医療機関の先生方におかれましては、気軽に地域連携・相談支援センターをご利用下さいますようお願い申し上げます。

当院では、昨年末に MR が増設され2台体制となりました。今年は検査の予約待ち時間の短縮が期待できますので気軽にご利用いただければ幸いです。

昨年、当院は新潟県歯科医師会と医科歯科医療連携事業を開始しました。口腔ケアが、がん治療に伴う口腔合併症の予防と軽減につながり、がん治療の経過や予後に大きく関わる事が種々の研究で明らかになっています。現在、歯科医師を対象とした研修会が開始されており、今後の県域レベルでの展開が期待されます。

いまや、がんは誰にとっても身近な問題であり、新しいがん治療の目標はこれまでの「命を救う」から「元の暮らしを取り戻す」ことになっています。抗がん剤治療や手術だけで終わるのではなく、その後の社会復帰までのフォローが求められているわけです。地域医療連携においては、病病、病診、在宅医療、介護そして患者・家族の会などの役割分担とネットワーク形成が益々重要になってきます。

今年も「断らない」をモットーに先生方との連携を大切にしていまいりますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

今年一年の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



地域連携・相談支援センターの紹介



新年あけましておめでとうございます。

日頃より当院の地域連携・相談支援センターへのご協力とご支援を賜り感謝申し上げます。

作年の4月から、「地域連携・相談支援センター」の組織が新体制となりましたが部屋が分かれての業務でしたので、連携先の医療機関の先生方や福祉施設の皆様方には、情報提供等の対応で大変ご不便をおかけいたしておりました。この2月からは地域連携と相談支援センターが一緒の部屋での業務となりますので、様々なお問い合わせには迅速に対応できるよう体制を整えていきたいと考えております。連携医療機関の皆様方とのより一層の顔の見える連携が可能になることで、患者様とそのご家族様にとって満足のできる機能を発揮したいと考えております。

現在相談支援センターの医療相談件数は、月平均 580 件前後で昨年度より増えており、相談内容はがん相談や転院相談、福祉制度の説明や心理的な問題等で、最近は緩和ケア病院等への転院相談や在宅支援の相談も増えてきております。病診予約は年々件数が増え、今年度は月平均 349 件、多い月で 385 件の依頼がきております。また検査の依頼も多くなり、現在県内に 1 台しかない PET-CT の依頼は、多い月ですと 54 件に上り PET-CT 件数の約 3 割は病診での予約となっております。

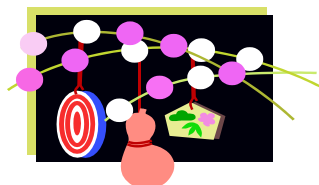
これからも、都道府県がん診療連携拠点病院としての地域連携・相談支援センターの役割と機能の充実を目指してまいりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



職員は、丸山センター長（副院長）をはじめ MSW・臨床心理士・

がん看護専門看護師・退院調整看護師・事務員の総勢 9 名の部署です。

（文責 杉崎 かおる）



小児科で活躍するボランティアさんの紹介



当院の小児科には、いくつかのボランティア団体が活躍していますのでご紹介します。

ボランティア保育「たんぽぽ」のみなさんは、未就学児(0歳～6歳)のための保育(有資格者による)を、月曜から金曜の午前中10:00～12:00まで行っています。「たんぽぽ」は平成14年10月から活動を始めた歴史あるボランティア団体です。もともとは、就学前教育の必要性を訴えた母親たちの声と、子どもと一日中ずっと一緒に過ごしているお母さんたちを、少しでもラクにさせたいという当院小児科の浅見 Dr の声かけで、週に一回から開始しました。現在では週に五回へと拡大しています。

「たんぽぽ」と連携してボランティアをおこなっているのが「きらら」(きららは元患者さんのお母さんたちの集まりです)です。「きらら」のみなさんの活動は「たんぽぽ」のみなさんの使うおもちゃや教材作り、そして材料費の援助などです。

小児科病棟にはプレイルームという子どもたちが遊べるスペースがあり、毎回「きらら」のみなさんの手作りおもちゃや「たんぽぽ」のみなさん達が自身で工夫したいろいろな小道具を持参して、季節に合わせた保育を楽しくおこないます。歌を歌ったり、お遊戯をしたり、お絵かきをしたり、おままごとをしたり、子どもたちは目を輝かせて保育に参加します。つらい治療に耐えている子供たちの顔が、ぱっと笑顔になると、「やっていて良かったなー」と思うそうです。小児科の大きな行事として夏祭り、クリスマス会があり、オークの木(小児がん体験者の会)がボランティアで主催します。その場でも「たんぽぽ」さん、「きらら」さん達が活躍しています。

(文責 臨床心理士 名和 淳)



新潟県立がんセンター新潟病院 2013年（平成25年）1月外来診療予定表

1月1日現在

科	曜日	月	火	水	木	金
内科	401診	D 張 高明		D 廣瀬 貴之		B 林 芳樹
	402診	C 高山 亜美	D 今井 洋介	C 大倉 裕二	D 石黒 卓朗	D 今井 洋介
	501診	C 大倉 裕二	F 谷 長行	F 谷 長行		F 谷 長行
	502診	A 青柳(午前) A 加藤(午後)	E 大山 泰郎	A 加藤 俊幸	E 大山 泰郎	B 阿部 徹哉
	601診	B 横山 晶	A 本山/栗田(隔週)	B 阿部 徹哉	A 栗田 聡	B 田中 洋史
	602診	A 本山 展隆	A 船越 和博	A 佐々木 俊哉	A 船越 和博	C 高山 亜美
	201診	B 田中 洋史		B 樋浦 徹		B 馬場 順子
科	新 患	A 佐々木 俊哉 B 阿部 徹哉 F 谷 長行	A 青柳 智也 B 林 芳樹 C 大倉 裕二 D 石黒 卓朗	A 船越 和博 B 田中 洋史 D 今井 洋介 E 大山 泰郎	A 加藤 俊幸 B 馬場 順子 C 高山 亜美 D 廣瀬 貴之	A 本山 展隆 A 栗田 聡 B 樋浦 徹 D 張 高明
	(2診体制)					
*新患は2名の医師が担当します。当日の担当医についてはお問い合わせください。						
A：消化器 B：呼吸器 C：循環器 D：血液 E：内分泌 F：糖尿病						
小児科	1 診	浅見 恵子	小川 淳	渡辺 輝浩	浅見 恵子(～11:00) 長期7時0-7時7 外来 (11:00～)	小川 淳
	2 診					渡辺 輝浩
外科	1 診	佐藤 信昭(乳腺)	梨本 篤(胃)	土屋 嘉昭(肝胆脾)	中川 悟(食道)	瀧井 康公(大腸)
	2 診	金子 耕司(乳腺)	藪崎 裕(胃)	野村 達也(肝胆脾)	松木 淳(胃)	丸山 聡(大腸)
	3 診	福本 将人	會澤 雅樹	神林 智寿子(乳腺)	番場/大澤(交替)	中山/西垣(交替)
	予防センター-乳腺		金子/長谷川	佐藤 信昭	神林 智寿子	佐藤/神林(交替)
*乳腺外科については原則予約制となりますので、あらかじめご了承ください。						
呼吸器外科		吉谷 克雄	小池 輝明	篠原 博彦(午前) 吉谷 克雄(午後)	小池 輝明	篠原(1,3,5週) 吉谷(2,4週)
整形外科	新 患	(交替で診察)	皇野 宏史	小林 宏人	守田 哲郎	村井 丈寛
	再 来	守田 哲郎	交替・予約患者のみ	村井 丈寛	皇野 宏史	小林 宏人
*整形外科は完全紹介制となりますので、あらかじめご了承ください。						
*なお火曜日の再来は、予約患者の診察のみとなります。						
神経内科		原山 尋実	二宮 格	原山 尋実		原山 尋実
脳神経外科	1 診	宇塚 岳夫		宇塚 岳夫	高橋 英明	高橋 英明
	2 診	高橋 英明		高橋 英明	宇塚 岳夫	宇塚 岳夫
婦人科	1 診	児玉 省二	本間 滋	笹川 基	菊池 朗	本間 滋
	2 診	笹川 基	菊池 朗	菊池 朗	児玉 省二	笹川 基
	3 診		児玉 省二	本間 滋	本間 滋	児玉 省二
*婦人科3診については原則予約制となりますので、あらかじめご了承ください。						
皮膚科	新 患	竹之内 辰也	高塚 純子	竹之内 辰也	林 良太	高塚 純子
	再 来	高塚 純子	竹之内 辰也	竹之内 薫子	高塚 純子	竹之内 辰也
泌尿器科	1 診	北村 康男	小林(1,3,5週) 北村(2,4週)	斎藤 俊弘	斎藤 俊弘	北村 康男
	2 診	小林 和博	信下(1,3,5週) 斎藤(2,4週)	小林 和博	信下 智広	信下 智広
*新患については紹介状が必要となりますので、あらかじめご了承ください。						
眼 科		原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭
頭頸部外科	1 診	佐藤 雄一郎	山崎 洋大		佐藤 雄一郎	佐藤 雄一郎
	2 診	小本 学	小本 学		山崎 洋大	小本 学
*2012年（平成24年）4月より耳鼻咽喉科の名称を変更しました。						
放射線治療科	1 診	杉田 公	杉田 公	杉田 公	松本 康男	松本 康男
	2 診	松本 康男	松本 康男	松本 康男	杉田 公	杉田 公
*木曜日の新患依頼は対応できない場合がございます。ご了承ください。						
麻 酔 科		丸山 洋一、高田 俊和、富田 美佐緒（月～金 予約可能）				
緩和ケア科		齋藤 義之	齋藤 義之	齋藤 義之	齋藤 義之	齋藤 義之
*当院に受診中であり、主治医より紹介された方を対象としております。						

※ 変更となる場合がございますので、事前にご確認ください。（電話：025-234-0011）

新潟県立がんセンター新潟病院 地域連携・相談支援センター（地域連携部門）

TEL:025-234-0011 FAX:025-234-0022 受付時間 月～金 8:30～17:30

地域連携・相談支援センターを通して予約した場合、原則として予約日当日に行える検査

CT、腹部超音波、MRI、食道・胃・十二指腸内視鏡、PET-CT

時間外のFAXについては、平日夜は翌朝、金曜夜から日曜は月曜の朝にお返事申し上げます



県立病院ニュース



病院に関係する全ての人から信頼される病院を目指して

第129号 平成24年12月 病院局発行

信頼される病院づくりキャンペーン24 取り組み事例

地域連携・相談支援センターの充実 がんセンター新潟病院



今年度の4月から、当院の「地域連携・相談支援センター」の組織が新体制になりました。

丸山センター長→

昨年度までは、「地域連携室（病診予約）」で経営課医事部門に所属されていた委託の職員2名が主に地域の病院、診療所から依頼のあった外来の予約や逆紹介の手続きを行い、都道府県がん診療連携拠点病院の指定時に新たな体制となっていた「相談支援センター」で、患者相談、前方・後方連携、退院支援、地域連携パスの地域への紹介、患者会への支援、ボランティアとの連携などを行っていました。

今回、その組織が統合されたことで患者さんの窓口が明確になりました。また、連携医療機関や地域の福祉施設とより一層の顔の見える関係を築き、連携機関の利便性を向上させるとともに、患者さんとその家族に満足していただける機能を発揮したいと考えています。



構成メンバーは、丸山センター長（副院長：兼務）、杉崎副センター長（看護師長）、名和臨床心理士、神保 MSW、柏木がん看護専門看護師、石田副看護師長（退院調整）、事務員の笠原、岩崎、鈴木の9名で、昨年度に比べ看護師が1名増員となってスタートしました。これまでそれぞれの業務を、地域連携室は1階の医事課で、相談支援センターは以前からある2階の医療相談室で行っていましたが、今後は、地域連携室（病診予約）と相談支援センターと一緒に業務のできる部屋を確保する予定ですので、より一層地域連携の充実が可能になると思っています。

今年度の相談件数は、4月から10月までの7か月間で月平均579件あり、昨年度に比べ1.5倍に増えています。主な援助内容は多い順に、①転院相談（他院・緩和ケア病院等）②退院に関する援助③心理的問題（疾病・治療に対する不安等）に関する援助④福祉制度関係となっています。

病診予約は年々件数が増え、今年度は月平均349件、多い月で385件の依頼がきています。検査の依頼も多くなっています。中でも、現在県内に1台しかないPET-CTの依頼は多い月は54件に上り、全予約の3割以上が当センターで行うものとなっています。

これからも、都道府県がん診療連携拠点病院の地域連携・相談支援センターとしての役割と地域住民の方々の満足度が向上できるような機能の充実を目指していきます。

（杉崎 かおる）



リウマチセンター市民公開講座 in 新潟

11月3日（土）13時から、『第6回 県立リウマチセンター市民公開講座 in 新潟「リウマチ治療の現在（いま）未来（これから）」』を新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザで開催しました。

各方面に広報してはいるものの、肝心の新潟市の広報に掲載することができないなかで、当日参加して下さる方がどれくらいいるのか開催する側としてはとても心配していました。けれどもふたを開けてみれば、杞憂に終わり、結果的には100名あまりの参加者を迎えることができ、また、病院からも多数のボランティアスタッフも参加して想定外（！）の盛大なものになりました。

公開講座の内容は、事前に予約された方を対象としたミニ診察と相談〔右上写真〕、それと予約不要の講演会としました。



ミニ診察と相談は、リウマチ専門医によるミニ診察、薬剤師によるお薬相談、リハビリ技師による患者向け福祉用具の紹介や相談などの内容です。さらにスタッフの奮闘により、当日は予約なしの方でも積極的に受け付け、可能な限り希望に添うよう努力しました。そのかいもあってか、ミニ診察と相談については、終了後はスタッフの対応や説明についての感謝の言葉をたくさんいただくことができました。

その後、村澤院長、石川先生、小林先生の3先生によるリウマチをテーマとした講演会が行われ、最新のリウマチ治療の動向などについて参加者にわかりやすく説明しました。

また、公開講座修了後は参加者からアンケートに記入していただきました。アンケートからはリウマチ理解に繋がる言葉をたくさんいただき、リウマチセンターとしての役割を少しでも果たすことができたかなと思っています。



以下はその例です。

「リウマチについて疑問に思っていたことや、心配だったことを初めてきちんと聴くことができ本当にありがたかったです。」

「母がリウマチ患者ですが、母の立場や病気と闘っていることについて再考しました。もう少しやさしい介護を心がけようと反省しました。」

一方で、「講演時間のゆとりが欲しかった。」「音響のせいかよく聞こえなかった。」「レジメや資料を配付してほしかった。」といった回答もあり、スタッフ一同、今年度の反省点などを踏まえ、来年度以降の開催に生かしていきたいと考えています。

（リウマチセンター地域連携室 星野副師長）

『人を育てる人』を育てる 教育担当トレーナー 1 部研修

『病院局人材育成プログラム』に基づき、

- (1) 参加者が県病院局の研修方針と体系を理解するとともに、効果的な研修の企画や運営するための技能を修得し、人材育成プログラムの内容を踏まえた研修を開催する人材（教育担当トレーナー）を育成すること、
- (2) 病院内で組織横断的に他職種が連携・協働し、県立病院が求める人材を育成する役割を担うこと、

つまりは、教育担当トレーナーという役職というのではなく、

その資質を持った職員を育てることを目的として、10月26日、11月16日及び12月4日の3日間の日程で、「教育担当トレーナー 1 部研修」が開催されました。

（来年度は、実践編となる 2 部研修を実施する予定です。）

教育担当の心得

○ **難しいことを
わかりやすく
わかりやすいことを
おもしろく
より深く
指導する**

10月26日配付資料抜粋

人心掌握術 あかさたな10箇条 柳堂語録より

- ・ **あ** 握手、あいづち、eye contact+say something nice
- ・ **か** カウンセリングマインド(傾聴、受容、共感)
- ・ **さ** さりげない安心感の演出(余裕の表情、落ち着き)
- ・ **た** 対処スキルの熟練(問題解決の素早さ)
- ・ **な** ナラティブ(語理的)な会話の活用
- ・ **は** 話の活用(メタファー「隠喩」)
- ・ **ま** 間の活用(時間、空間、仲間)
- ・ **や** やる気、やりがいのアピール
- ・ **ら** ラボールの維持(コーチング)
- ・ **わ** 分かりやすい説明、資料

12月4日配付資料抜粋

受講者には既に院内の研修の企画・運営を担っている職員が多く含まれましたが、今回、学びを深めたことで、日々の業務の中にもトレーナーとしての資質を発揮して後継者となるスタッフを育成していく推進者としての役割などが期待されています。

また、トレーナーの活かし方は、各病院、各部署に委ねられています。

院内での環境づくり、研修成果を活かす機会への支援をお願いします。

（業務課 柴山）

研修修了者アンケートから「学び」を紹介します

(12月4日のアンケートを中心に抜き書きしています。なお、左写真は§5 研修企画案発表の様子です。)

- ・ 1回目より2回目、2回目より3回目という風に研修が待ち遠しい、楽しみになっていました。来年も是非参加したい。
- ・ 他病院や他職種の方と3日間にわたり、一緒に考えたり、話し合ったりすることで、楽しい研修となり、他病院のこととも分かり良かったです。他の職員にも是非参加してほしい。
- ・ 「グループで考えて行動する」ことが、とても達成感を得られるものと感じることができた。



- ・ アイディアの沢山つまった研修企画案は財産です。
- ・ 実際に参加したくなる研修企画が多くあった。
- ・ 他の方の発表を聞きながら、興味の持てるタイトルの付け方は大切だと感じた。多くの人に足を向けてもらえる研修にするため、タイトルを考えたいと思った。
- ・ 様々な企画書を見、発表を聞き、企画者の視点や個性があり、興味を引くポイントや具体的な内容の立て方について新たな学びができた。

- ・ 23年度2部研修修了者の講義に参加して、トレーニングすればここまで成長できるんだと感心したが、自分にできるかどうかは不安に思う。参加型の研修や遊び心を取り入れた研修は、参加して満足感が得られると思った。
- ・ 盛りだくさんな研修でしたが、自分のものにできるよう頑張りたいです。まず、自部署の研修でみんなの興味を引きつけたいと思います。
- ・ 講義をするために講師がどれだけ時間を要したのかと考えた。人に伝える、伝わる研修をすることは大変だと感じた。
- ・ 体験する中で、研修の進め方、方法、時間分けにより飽きずに参加し心に残る技を学んだ。
- ・ すばらしい研修なので、この研修があることをもっと全職員、全職種にアピールすると良いと思う。



「信頼される病院づくりキャンペーン」にかかる取組をお知らせください！

病院局業務課改革室

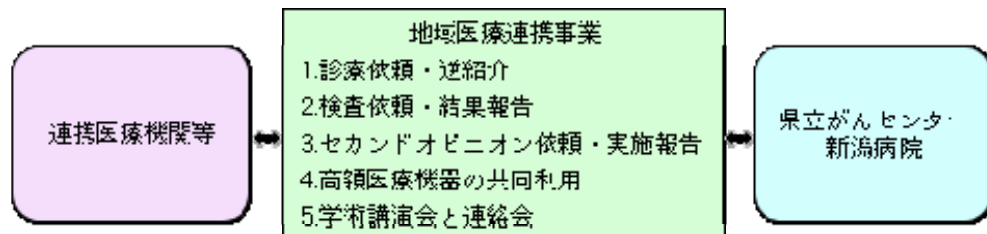
E-mail: ngt400020@pref.niigata.lg.jp



津川病院のツリー

地域連携・相談支援センター（地域連携部門）

当院では、地域連携・相談支援センターを設置して、地域医療連携事業を行っています。



地域医療連携だより

地域の連携医療機関の皆様に 当院の紹介や外来診療予定を お知らせしている広報誌です。

平成 25 年 4 月

平成 25 年 1 月

平成 24 年 10 月

平成 24 年 08 月

診療・検査等のご依頼に関する連携方法は次のとおりです。

1. 当院宛てに診療情報提供書（紹介状）を F A X 送信いただきます。
2. 診療情報提供書が F A X で届くと、連携係が紹介科の新患予約をお取りし、おおむね 1 5 分以内に F A X で返信します。
3. 患者さんが予約時刻に各科外来を受診される時点で、カルテと I D カードをご準備しております。

なお、地域連携部門の重要な業務として、紹介・逆紹介患者さんの把握があり、紹介状に対する返信の有無をチェックし、返信が無い場合には督促も行なうことにしております。

この他、PET-CT 等の「高度医療機器の共同利用」や「学術講演会および連絡会」などの事業も行なっております。

診療情報提供書（紹介状）のダウンロード

当院宛てのご紹介の際にご利用ください。

- ・診療情報提供書（P D F 形式 225kB）
- ・PET-CT 検査申し込み用資料ダウンロードのページへ

関連ページへのリンク

- ・外来診療予定表のページへ
- ・休診日・臨時診察日のお知らせのページへ
- ・セカンドオピニオン外来のページへ
- ・地域連携・相談支援センター（相談支援部門）のページへ

地域連携・相談支援センター（相談支援部門）

当院では、患者さんやご家族の方の相談に応じるため、相談体制を充実した「相談支援センター」を設置しています。

医療ソーシャルワーカー・がん看護専門看護師・臨床心理士など、専門の相談員がお話を伺い、一緒に解決のための方法を考えます。

お一人で悩まずご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守ります。

相談内容

医療、福祉、心理、看護などの相談

たとえばこんな時・・・

- 退院と言われたが、介護の必要な患者の世話ができるだろうか。
- 病気のことが不安でたまらない。話を聞いてほしい。
- 心配事があるが、どこに相談したらいいかわからない。
- 介護保険のこと、身体障害者手帳のこと、障害年金のことなどについて知りたい。
- 施設やほかの病院への転院について相談したい。
- 退院後、職場や学校でうまくやっていけるだろうか。
- 医療費や生活費が心配。
- 病気や治療のことで、わからないことがある。

・・・どうぞお気軽にご相談ください。

受付時間・場所

・受付時間

月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時まで。

※ご予約いただくとお待たせいたしません。直接またはお電話でお申し込みくださるか、看護師などを通じてご連絡ください。ご希望いただければ、病室にもおうかがいいたします。

・場所

2階売店の近くにあります。

電話番号

025-266-5161（直通）

新潟県立がんセンター新潟病院ホームページ URL

地域連携相談支援センター

<http://www.niigata-cc.jp/contents/treatment/soudanshien.html>（相談支援部門）

<http://www.niigata-cc.jp/contents/other/chiikirenkei.html>（地域連携部門）

院内連携のためのアピール資料

其師之獨益與



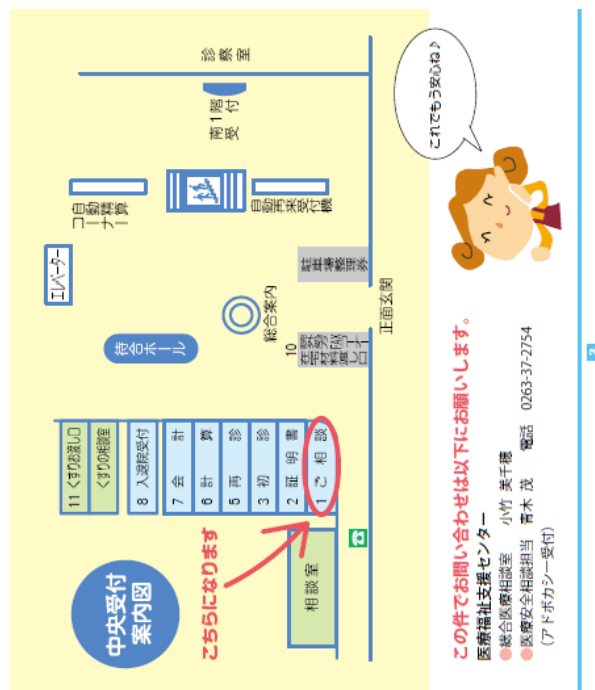
病院広報誌ハニグ掲載

病院 21 C ハミング

ご相談をご希望される方は以下の番号に○をして、
1階の受付カウンターの医療福祉支援センター
〈1番ご相談窓口〉にお申し出ください

【ご相談内容】 ※口頭でもお受けいたします。

1. 医療（申請、証明含む）、医療福祉に関すること
2. 薬・栄養に関すること
3. がん診療に関すること
4. 医療安全に関すること等
5. それ以外のこと（上記に分類できないものや、よくわからないことなど）



院内連携のためのアピール資料

患者サロンとこころの相談院内掲示用ポスター

がんとともに生きる方とそのご家族のための患者サロン

ひまわり

ひとりで悩んでいませんか？

このサロンはがん患者さん・ご家族がこころの悩みや不安、体験などを自由に語り、分かち合える場所です。

申し込みは不要です。お気軽にお越しください。

会場：外来棟4階研修室6

日時：毎月第4火曜日 13：30～語り合い

14：30～イベント

今後の日程

1/15・2/26・3/26・4/23・5/28・
6/25・7/23・8/27・9/24・10/22・
11/26・12/24

2月 リラクゼーション 7月 コラージュ体験
4月 (タオル帽子の作り方) 9月 ハンドマッサージ
5月 太極拳 11月 クリスマスの小物作り
6月 リンパ浮腫勉強会 12月 クリスマス会

※イベントは変更することがあります。

詳しくは病院ホームページをご覧ください。

サロンにはサポート役として、医療福祉支援センターがん相談員等が関係します。

お問い合わせ：医療福祉支援センター 内科・看護

TEL 0263-37-3370

がん患者さん、ご家族の方へ

こころの相談

療養中に不安でつらいと思うことや、病気や生活、人間関係などで悩んでいることがあります。ひとりで抱え込まず、臨床心理士に話してみませんか？

こんなときにご相談ください。

- ・不安でつらい
- ・気持ちが落ちる
- ・混乱している
- ・落ち込んでいる
- ・誰かに気持ちを話したい、など。

話すことにより、つらさや不安が軽くなったり、気持ちや問題が整理されることにつながります。一緒に考え、問題の解決を目指します。

ご相談いただいた内容をご本人の許可なしに他の方に伝えることはありません。相談は無料です。

ご相談のある方は、通院治療室看護師へ声を掛けていただくか、または医療福祉支援センターへご連絡ください。あらかじめお電話いただくと、お待たせする時間が少なく、時間を取ってじっくり話をお聞きできます。

医療福祉支援センターでは、

- ・医療福祉相談
- ・がん相談

などについても、相談をお受けしています。

内容は、医療費・生活費などの経済的な相談、社会福祉制度の相談、がんに関する相談（がんの治療、今後の療養や生活のこと）などです。

お気軽にご相談ください。

医療福祉支援センター

臨床心理士 高橋

(直通) 0263-37-3370

こまくさ図書室正面



がん対策情報
センター発行
冊子



医学書
医学関係書籍
闘病記



信州大学医学部附属病院

院内外連携のためのアピール資料 患者さんへ情報発信と 癒いの場 「こまくさ図書室」

第21回ハミング

患者さんのための図書室ができました！

5月7日、新外科棟開設と同時に「こまくさ図書室」がオープンしました。患者さんが年々以上に快適な診療を受けられることを願い、患者さんの癒いのための図書室として、また病棟や治療について、がんに関する情報を提供し、また付き添い、お見舞いなどの場として、病棟開設と同時に、こまくさ図書室が開設されました。病棟開設と同時に、こまくさ図書室が開設されました。

5月7日、新外科棟開設と同時に「こまくさ図書室」がオープンしました。患者さんが年々以上に快適な診療を受けられることを願い、患者さんの癒いのための図書室として、また病棟や治療について、がんに関する情報を提供し、また付き添い、お見舞いなどの場として、病棟開設と同時に、こまくさ図書室が開設されました。病棟開設と同時に、こまくさ図書室が開設されました。



ヒーリングスボットを生み出す魔法の手

白い壁、柔らかな光。白衣の人々が行き交う中で、あつくり落ちる点滅のしずくを見つめていて、いっつきのまにが遠い非現実の世界へいざなわれ、不安なふたれに日常にいつ戻れるかわからない。不安な面持ちで眺める病院の空間。でもその中に、ヒーリングスボットを生み出す魔法の手を持つボランティアさんが信太病院にはいます。



通りがかりに患者さんもお見舞いのお客さんも職員も、横が振り返らずにはいられない。救急科の廊下をわすれずかかろ40m四方の空間に、通行人の視線を強い寄せつけるリトルワールドを創る。

信太病院通読ボランティア募集

信太病院では通読ボランティア以外にも、ボランティアとして活躍する方を募集しています。ご興味がある方は、下記URLからホームページをご覧ください。

<http://www.mt.shinshu.ac.jp/>

募集日誌
お問い合わせは下記までお願いします。

信太病院 通読ボランティア担当 松本麻生 02653 37-2854
FAX 02653 37-3183

信太病院 通読ボランティア募集

信太病院では通読ボランティア以外にも、ボランティアとして活躍する方を募集しています。ご興味がある方は、下記URLからホームページをご覧ください。

<http://www.mt.shinshu.ac.jp/>

募集日誌
お問い合わせは下記までお願いします。

信太病院 通読ボランティア担当 松本麻生 02653 37-2854
FAX 02653 37-3183

院内広報誌ハミング掲載

院外連携のためのAPI資料

医療福祉支援センターの
パンフレット

http://www.hp.md.shinshu-u.ac.jp/shinryo/bumon/16_fukushishien.php

[illegible]

院外連携のためのAPI資料

信州大学学部付属病院
ホムペーシ

http://www.hp.md.shinshu-u.ac.jp/shinryo/bumon/16_fukushishien.php

[illegible]

院外連携のためのアピール資料

「ながのけん」
広報

「もつち」

[illegible]

- ・長野県の広報誌不定期掲載
- ・県が、民放ラジオ局で、がん相談の広報など展開

広島まわと

本

平成20年12月1日号

健康・福祉ロータリー

親子体操（小宮こどもプラザ）

こどもプラザ
12月の予定

- ◇第9期 / 12月10日（水）午前10時 保健師の肩こり相談
- ◇小宮 / 12月10日（水）午前10時 ニコニコ運動場

■問い合わせ こどもプラザ
（広島）☎3400・（小宮）☎3400
（小宮こどもプラザ）☎8310（入）

がん相談窓口
ご利用を

のがんについての相談（病気のこと、医療費・治療法・今後の予定）ができる「がん相談窓口」をぜひご利用ください。県民さんやご家族の方、他県の方などどなたでも無料でご利用いただけます。

■相談先 がん診療連携拠点病院（県立大学医学部附属病院）がん相談支援センター
（☎33045）相談病
院がん患者・家族支援セン
ター（☎8600）内線
7842）

※相談内容については秘密を保持します。

■問い合わせ 健康づくり課
（☎3327
☎2523）へ

傾聴ボランティア
講座（初級）へ

■対象 市内在住で全日現業等で、受診後傾聴ボランティアとして活動可能な方30人（初級のみを優先）
■日程 21年1月19日（水）午前10時～

子宮頸がん検診

子宮頸がんは、子宮頸がんと子宮体がんの総称です。この子宮頸がんの発症の多くは、人から人へウイルス感染が原因だと考えられています。このウイルスは、感染しても必ずしも発症するわけではなく、多くは自然に排除されてしまいます。しかし、まれに持続してウイルスが体内に排除できず、がんへと進行してしまう場合があります。

子宮頸がんの初期症状は全くないため、気づくのが難しいのが特徴です。また、痛みや出血などといったわかりやすい症状はほとんどありません。そのため、定期的な検診を受けることが大切です。

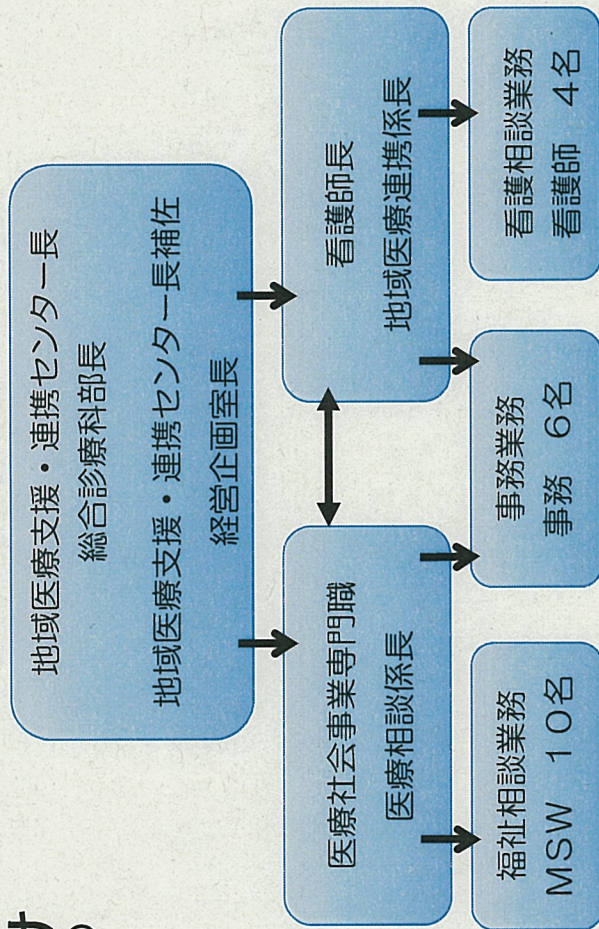
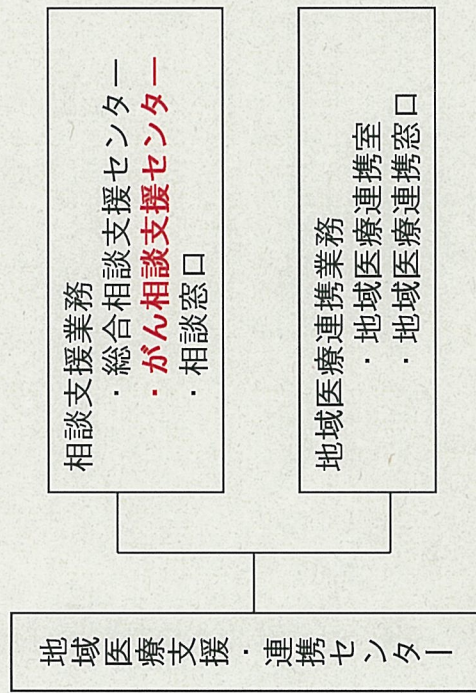
（本市医師会URL: <http://www.city-hiroshima.jp>）

■特 定 検診 正午と午後1時30分～3時30分（全4回）
■申込 小宮市総合福祉センター4階
■内容 傾聴ボランティアのための講義と実習

・松本市の広報誌年一回掲載
・市発行のがん検診クーポンポスターに、がん相談支援センターの連絡先を掲載

がん相談支援センターの位置づけ

(平成25年7月1日現在)



相談窓口のご案内(院内掲示)

相談室のご案内

入院・外来を問わず、患者さまやご家族さまの心配ごと・お困りのことなどについて、相談をお受けいたします。どこに相談したらよいかわからない場合の窓口であり、『よろず相談』の役割もしておりますので、お気軽にお声をおかけください。

すぐにお答えできない場合でも、後日お答えいたしましたのでご相談ください。



こちらの「相談窓口」でのご相談を受け付けいたします。

相談内容により、相談室の相談員(ソーシャルワーカーや看護師)または各担当へお繋ぎいたします。



相談窓口
に掲示

病棟や外来
等の掲示板
に掲示

相談窓口のご案内

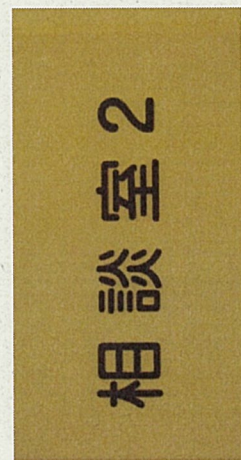
入院・外来を問わず、患者さんやご家族の心配事・お困り事について、どこに相談したらよいか解らない場合の「よろず相談」の役割をしますので、お気軽にお声をお掛け下さい。

- 診療に関すること
- 看護に関すること
- 検査、薬に関すること
- がん相談に関すること
- 退院に関すること
- 医療安全に関すること
- 医療費や支払いに関すること
- 接遇に関すること
- その他

設置場所：「館外来ホール(群馬銀行キヤンパニーナード)」
担当者：各専門職員(看護師・社会福祉士・専門職などが
お話しを伺います)
対応時間：平日 8時30分より17時15分まで






相談室



平成25年度がん講演会計画一覧

平成25年度がん講演会計画一覧表

	年月	講演会名	講演内容	演者	現在
1	6月8日 (土)～ 9日(日)	緩和ケア研修会 (当院 大会議室)	厚生労働省「がん対策推進基本計画」における、緩和ケアについての基本的知識を習得するための研修。	がん診療連携拠点病院講演会  副学長 田中 俊行 先生 高崎総合医療センター 緩和医療部	25.7.25現在
2	6月13日 (木)	医療介護福祉現場で考える倫理 (当院 大会議室)	倫理原則、インフォームド・コンセント、意思決定支援、アドバンスケアプランニングなどから、がん医療における倫理を考える。	＜講演会テーマ＞ 医療者が必要とする コミュニケーションの技術	
3	7月16日 (火)	高齢者医療の特徴	国民の高齢化に伴い、医療従事者も高齢者への医療提供についての学習が求められている。	講師：国立病院機構 高崎総合医療センター 緩和医療科 外科医長 田中 俊行 先生 【講演会概要】 医療従事者が、がん患者さんやご家族に会話されるべき、どのような事に気を付けながらコミュニケーションをとりますか。患者さんやご家族がつらい気持ちを出されたとき、どのように対応されますか。どのように対応したいのかと悩まれている方も多いのではないかと思います。皆さんと一緒に考えてみたいと思います。	
4	9月17日 (火)	医療者が必要とするコミュニケーションの技術 (当院 大会議室)	医療者が臨床で必要とするコミュニケーションの技術の基本を学ぶ	【日時及び場所】 ●平成25年9月17日(火) 18:30～20:00 ●高崎総合医療センター 2階大会議室 ☆議題に興味をお持ちの医療従事者の方ならちとなでもご参加いただけます。 ご希望の方は地域医療交流・情報センターまでご連絡ください。	
5	10月5日 (土)	女性に多いがんの話 (会場未定)	女性に多いがんをテーマに ①子宮頸がん ②子宮体がん ③乳がん ④甲状腺がん をそれぞれ15 ～ 20分ずつ講演。		
6	11月	エンド・オブ・ライフケアを考える	その人らしい人生の最後を生き抜くことの意味を理解し、必要な援助を提供できる能力を学ぶ。		
7	3月	がん患者の有する全人的苦痛のマネジメント	多職種によるグループディスカッションにより、がん患者の有する苦痛を全人的な側面から分析し、苦痛の緩和を考える。	 ●当センター駐車場をご利用いただけます。	

がんサロシ“ほっとさろんたかえき” (広報誌より)

がん患者さんやそのご家族の集いです

ほつとさろん・たかたか



当センターでは、毎月1回がんさるんを開催しております。がん患者さんやそのご家族に、ご自由に参加して頂いております。事前の申し込みも特に必要ありません。

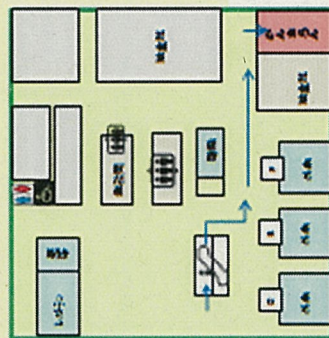
お茶を飲みながら
南風のことや日々の生活のことなど
お話しませんか？

この應州府城とがの内一なるにせし東門外に張氏、其田南

とぎ：平成25年
4月26日(金)
6月23日(金)
8月23日(金)
10月26日(金)
12月20日(金)
平成26年
1月24日(金)
3月28日(金)
5月24日(金)
7月26日(金)
9月27日(金)
11月22日(金)
2月28日(金)

毎回 13時30分～15時30分

ところ：福岡総合医療センター2階
Fカウンスターの県市役所創

[illegible]

國内、海外、各處の

設立に賛同した人財を育成し、地域社会に貢献する。

行事などのお知らせ～当センターで実施する行事等～

【市民健康医学講座】

『知って欲しい内視鏡
～検査と治療～』

講師：消化器内科医 工藤 智洋
日時：平成25年8月21日(水)
18時～
場所：当センター2階 大会議室
対象：一般市民の方、関係団体等

[Cancer Board]

『放射線診療科 速攻略』
「外堀から攻める謀略法」！

日時：平成25年9月6日（金）
18時～
場所：当センター2階 大会場
対象：全一校の女 児童保護委員



ICPC (臨床病理分)

1月、2月はお休みです
 改訂9月25日(火)の予定です



当センターのホームページより広報紙「バックナ
ンバー」をご覧ください。

<http://xxx.toho-institute.jp/index.html>

親身富より

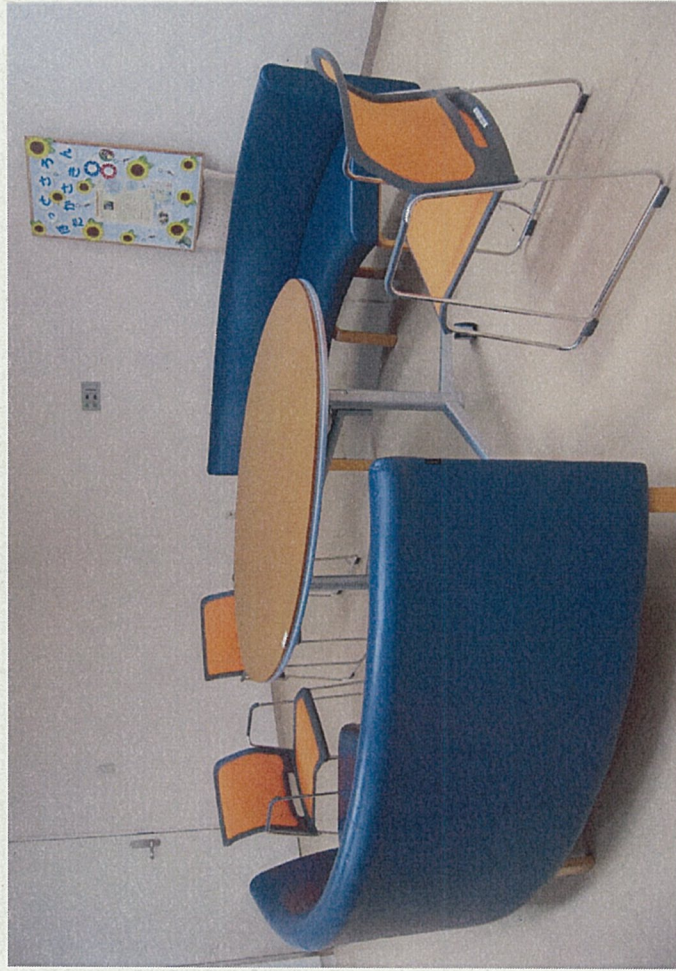
ち、お見舞い申し上げます。

電話 021-222-5335
〔地味西本主社・支店・支店〕

がんサロン“ほっとさろんたかさき”



当日案内の
手作りポスター



私の意思表示ノート～私の思い、願い～

①

【目次】
私の意思表示 ～私の思い、願い～
年 月 日

もし、あなたが病気や事故により、
・現在の意識では回復が見込めず、
・すでに死期が間近に迫っていると診断され、
・あなたが回復を望まずに安楽死を望む場合、
どのような処置を望みますか？

ご自身のお考えに○をお付けください。

① できるだけ治療を望みます
② 延命治療は望みません
③ 今はわかりません

*延命治療のうち、詳しく記入することを希望される方は、次のページにご記入ください。

②

【延命治療について】
ご自身のお考えに○をお付けください。

1. 呼吸器	希望する・望みしない・今はわかりません
2. 心臓	希望する・望みしない・今はわかりません
3. 腎臓	希望する・望みしない・今はわかりません
4. 脳	希望する・望みしない・今はわかりません
5. 人工透析	希望する・望みしない・今はわかりません
6. 人工心肺	希望する・望みしない・今はわかりません
7. 人工呼吸器	希望する・望みしない・今はわかりません
8. 人工透析	希望する・望みしない・今はわかりません
9. 人工呼吸器	希望する・望みしない・今はわかりません

③

ご自身のお考えに○をお付けください。
※ご自身で記入する場合は、ご家族や代理人の方に
判断を仰ぐ必要があります。

① 私の意思は記載のとおりです
② 判断を任せたい人がいます
氏名 { } 姓 { } 姓 { }
住所 { } 住所 { } 住所 { }
○その他、何かに希望やお考えがありましてらご自由に
お書きください。

年 月 日
年 月 日
年 月 日

ご本人署名
ご家族署名
ご家族署名

高津市社会福祉センター

④

ご自由に書きください。
年 月 日
年 月 日
年 月 日

ご署名
ご署名
ご署名

① 携帯用意思表示カード

私が病気や事故により、現在の意識では
① 回復が見込めず、② 死期が間近に迫っていると診断され、
③ 回復を望まずに安楽死を望む場合、
どのような処置を望みますか？
① できるだけ治療を望みます
② 延命治療は望みません
③ 今はわかりません

希望したら、下記のAに記入してください
氏名 { } 氏名 { } 氏名 { }
住所 { } 住所 { } 住所 { }
に書いてお持ちください

氏名 { } 氏名 { } 氏名 { }
年 月 日 記入

② 携帯用意思表示カード

私が病気や事故により、現在の意識では
① 回復が見込めず、② 死期が間近に迫っていると診断され、
③ 回復を望まずに安楽死を望む場合、
どのような処置を望みますか？
① できるだけ治療を望みます
② 延命治療は望みません
③ 今はわかりません

希望したら、下記のAに記入してください
氏名 { } 氏名 { } 氏名 { }
住所 { } 住所 { } 住所 { }
に書いてお持ちください

氏名 { } 氏名 { } 氏名 { }
年 月 日 記入

高津市社会福祉センター
〒227-8501 高津市高津3-1-1
TEL 027-522-5901
FAX 027-522-5902

①～④は3回記載できるよう、
ページ設定。

作成機関の
名称、問合せ先
を記載する

当センターでは、
相談支援センター
の相談員が窓口と
なっている。

1階ロビーのリーフレットスタンドに配列